

神奈川県産業廃棄物実態調査

報告書

平成24年2月

神奈川県

目 次

| | 頁 |
|--|------------|
| 1. 業務概要 | 1 |
| 1.1 業務名..... | 1 |
| 1.2 調査目的..... | 1 |
| 1.3 調査期間..... | 1 |
| 2. 調査内容 | 1 |
| 2.1 簡易推計による平成 21 年度における産業廃棄物の排出量等の推計..... | 1 |
| 2.2 簡易推計手法の見直し..... | 1 |
| 2.3 簡易推計による平成 22 年度における産業廃棄物の排出量等の推計..... | 1 |
| 2.3 調査対象廃棄物..... | 2 |
| 2.4 調査対象業種..... | 2 |
| 2.5 排出量及び処理状況の流れ図..... | 4 |
| 3. 調査結果 | 5 |
| 3.1 簡易推計（過年度手法）による平成 21 年度における産業廃棄物の排出量等の推計... | 5 |
| 3.2 簡易推計手法の見直し..... | 9 |
| 3.3 簡易推計による平成 22 年度における産業廃棄物の排出量等の推計..... | 24 |
| 4. 資料集 | 資-1 |
| ① 排出量等の種類別・業種別の一覧表..... | 資-2 |
| ② 業種別処理状況及びフロー図 | 資-5 |

1. 業務概要

1.1 業務名

神奈川県産業廃棄物実態調査業務委託

1.2 調査目的

本業務は、神奈川県における平成 21 年度の産業廃棄物の排出及び処分等の状況を簡易推計するとともに、簡易推計による平成 21 年度の排出量等の結果と、「神奈川県産業廃棄物総合実態調査（平成 21 年度実績）」による平成 21 年度の排出量等の結果の差異についての分析及び簡易推計手法の見直しをした上で、神奈川県における平成 22 年度の産業廃棄物の排出及び処理・処分等の状況を推計することによって、神奈川県の産業廃棄物行政の施策の検討に資することを目的とした。

1.3 調査期間

調査実施期間 : 平成 23 年 5 月 9 日 から 平成 24 年 2 月 29 日

調査票回収期間 : 平成 23 年 6 月 1 日 から 平成 23 年 6 月 30 日

2. 調査内容

2.1 簡易推計による平成 21 年度における産業廃棄物の排出量等の推計

神奈川県産業廃棄物総合実態調査（以下「総合調査」という。）における産業廃棄物処分業者のデータ及び産業廃棄物多量排出事業者による実績報告（以下「実績報告」という。）のデータを用いて、平成 21 年度の県全体の産業廃棄物の排出及び処理・処分状況を推計した。

2.2 簡易推計手法の見直し

「2.1」で求めた推計値と総合調査（平成 21 年度実績）による推計値を比較し、差異要因の解析及び補正方法を検討し、「2.1」で求めた推計値を補正した。

2.3 簡易推計による平成 22 年度における産業廃棄物の排出量等の推計

- ① 県内の産業廃棄物処分業者に対し、平成 22 年度における産業廃棄物の処分実績についてアンケート調査を実施した。使用した調査票は、総合調査と同じ様式の調査票を使用した。なお、回収した調査票は、誤記、記入漏れなどをチェックするとともに、回答者へ再確認するなどにより、精度向上に努めた。
- ② ①の処分業のデータ及び実績報告（平成 22 年度）等のデータを用いて、「2.2」で見直しをした簡易推計手法により、平成 22 年度における神奈川県の産業廃棄物の排出及び処理処分状況を推計した。

2.3 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、総合調査及び実績報告で対象となっている産業廃棄物とし、表 2.3-1 に示すとおり、総合調査の対象廃棄物の区分でとりまとめた。

表 2.3-1 産業廃棄物の区分

| | 調査対象廃棄物 | 細区分化の例等 |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 燃え殻 | |
| 2 | 汚泥 | 有機性、無機性 |
| 3 | 廃油 | 一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物類 |
| 4 | 廃酸 | |
| 5 | 廃アルカリ | |
| 6 | 廃プラスチック類 | 廃プラスチック、廃タイヤ、石綿含有廃棄物 |
| 7 | 紙くず | |
| 8 | 木くず | |
| 9 | 繊維くず | |
| 10 | 動植物性残さ | 動物性残さ、植物性残さ |
| 11 | 動物系固形不要物 | |
| 12 | ゴムくず | |
| 13 | 金属くず | 鉄、非鉄 |
| 14 | ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず | ガラス陶磁器くず、石綿含有廃棄物 |
| 15 | 鋳さい | |
| 16 | がれき類 | 工作物の新築・除去に伴う、コンクリート片、廃アスファルト、建設混合廃棄物、石綿含有廃棄物 |
| 17 | ばいじん | |
| 18 | 動物のふん尿 | |
| 19 | 動物の死体 | |
| 20 | 処分するために処理したもの | コンクリート固型化物など ※本報告書では、混合物等と合わせて「その他の産業廃棄物」として集計した |

2.4 調査対象業種

調査対象業種は、総合調査の対象業種とした。調査対象業種は表 2.4-1 に示すとおりである。

表 2.4-1 調査対象業種

| 日本標準産業分類 | 略 称 |
|---|--|
| <農業、林業> 耕種農業 畜産農業 林業 | 農業 林業 |
| <漁業> 漁業 水産養殖業 | 漁業 漁業 水産養殖業 |
| <鉱業、採石業、砂利採取業> 採石業、砂・砂利・玉石採取業 その他の鉱業 | 鉱業 採石業、砂利採取業 その他の鉱業 |
| <建設業> 総合工事業 職別工事業 設備工事業 | 建設業 総合工事業 職別工事業 設備工事業 |
| <製造業> 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業 | 製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他 |
| <電気・ガス・熱供給・水道業> 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 下水道業 | 電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 下水道業 |
| <情報通信業> 新聞業 出版業 | 情報通信業 新聞業 出版業 |
| <運輸業、郵便業> 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業 | 運輸業 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業 |
| <卸売業・小売業> 再生資源卸売業 百貨店、総合スーパー 自動車小売業 燃料小売業 | 卸・小売業 再生資源卸売業 百貨店、総合スーパー 自動車小売業 燃料小売業 |
| <医療、福祉> 医療業 | 医療・福祉 医療業 |
| <サービス業> 洗濯業 写真業 自動車整備業 産業廃棄物処理業 自然科学研究所 と畜場 | サービス業 洗濯業 写真業 自動車整備業 産業廃棄物処理業 自然科学研究所 と畜場 |

注) < >内は大分類、その下の業種は中・小分類を示す。

2.5 排出量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 2.5-1 の排出量及び処理状況の流れ図に示した項目によりとりまとめた。
 なお、図 2.5-1 における各項目の用語の定義は、表 2.5-1 のとおりである。

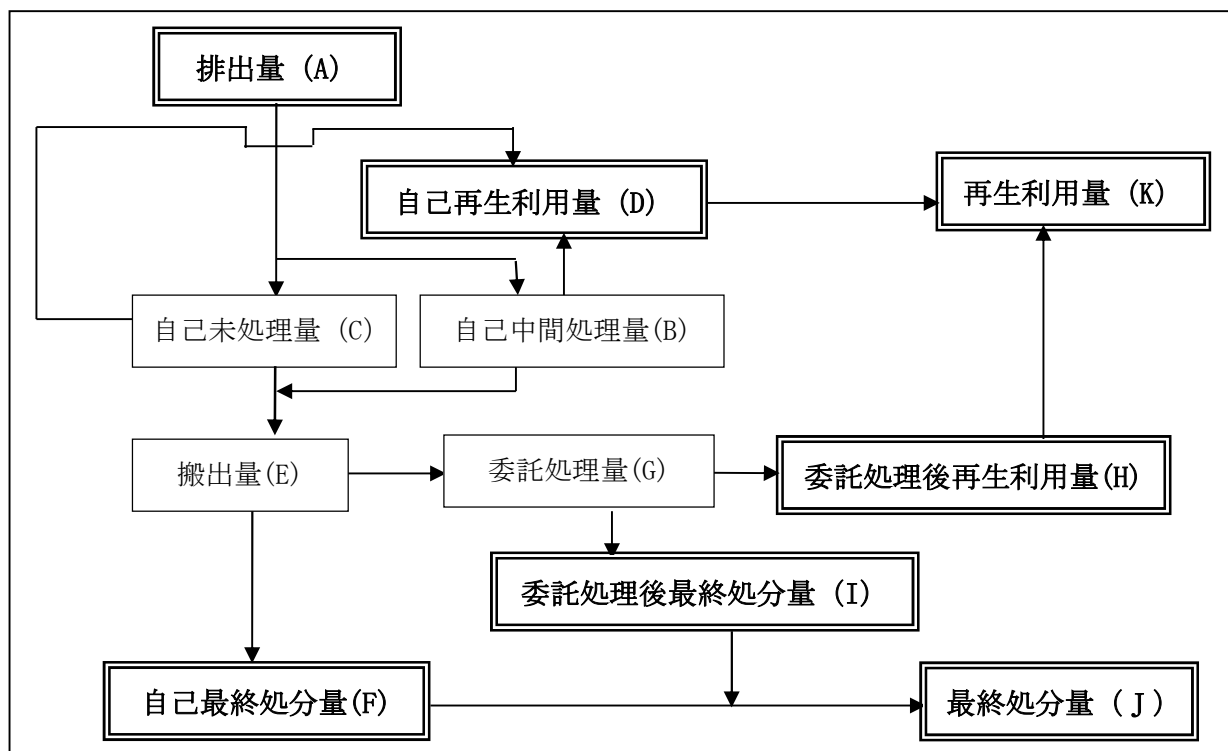


図 2.5-1 処理状況の流れ図

表 2.5-1 処理状況の流れ図に関する用語の説明

| 記号 | 項目 | 用語の定義 |
|-----|------------|--|
| (A) | 排出量 | 県内の事業者から排出される産業廃棄物の量 |
| (B) | 自己中間処理量 | (A) 排出量のうち、自ら中間処理をした廃棄物量の中間処理前の量 |
| (C) | 自己未処理量 | (A) 排出量のうち、自ら中間処理をしなかった量 |
| (D) | 自己再生利用量 | 自己中間処理後の量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量、若しくは (C) 自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量 |
| (E) | 搬出量 | (F) 自己最終処分量と (G) 委託処理量の合計値 |
| (F) | 自己最終処分量 | 自己の埋立地に処分した量 |
| (G) | 委託処理量 | 中間処理又は最終処分を委託した量 |
| (H) | 委託処理後再生利用量 | 委託中間処理後の量のうち、処理業者等で自ら利用し又は、他者に有償で売却した量 |
| (I) | 委託処理後最終処分量 | 委託処理量のうち最終処分された量 |
| (J) | 最終処分量 | (F) 自己最終処分量と (I) 委託処理後最終処分量の合計 |
| (K) | 再生利用量 | (D) 自己再生利用量と (H) 委託処理後再生利用量の合計 |

3. 調査結果

3.1 簡易推計（過年度手法）による平成 21 年度における産業廃棄物の排出量等の推計

1) 推計方法

① 排出量の推計

実績報告の平成 21 年度の排出量（業種別・種類別）について、平成 18 年度との増減率（A）を算出し、総合調査（平成 18 年度実績）の排出量にこの増減率（A）を乗じて平成 21 年度の排出量（業種別・種類別）を推計した。

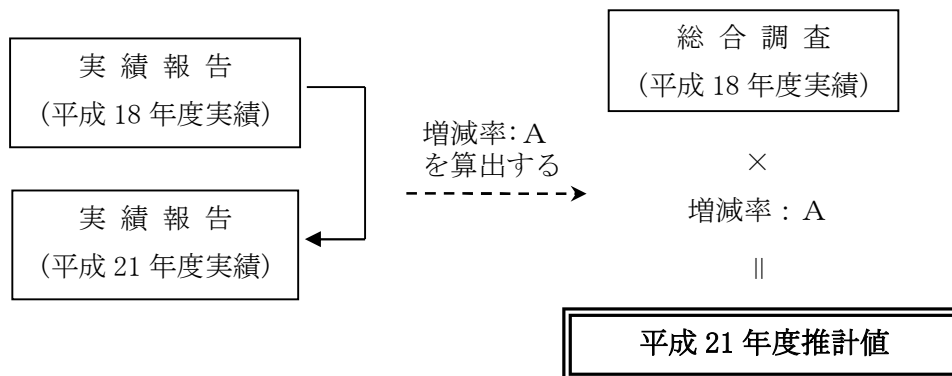


図 3.1-1 平成 21 年度排出量の推計方法

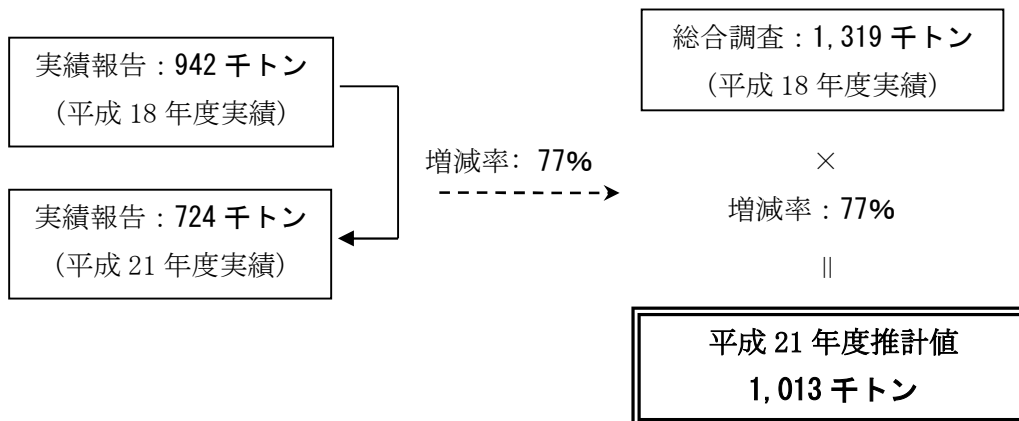


図 3.1-2 平成 21 年度排出量の推計（計算例 建設業 汚泥）

② 自己再生利用量、自己最終処分量の推計

自己再生利用量は、排出量と同様の方法で推計を行った。

自己最終処分量は、総合調査（平成 18 年度実績）における自己最終処分量が 0 であるので、簡易推計（平成 21 年度実績）における自己最終処分量も 0 であると推計した。

③ 委託処理後再生利用量の推計

県内産業廃棄物処分業者の処理実績の平成 21 年度の再生利用量（種類別）について、平成 18 年度との増減率（B）を算出し、総合調査（平成 18 年度実績）の委託処理後再生利用量に乗じて、平成 21 年度の委託後再生利用量（種類別）を推計した。

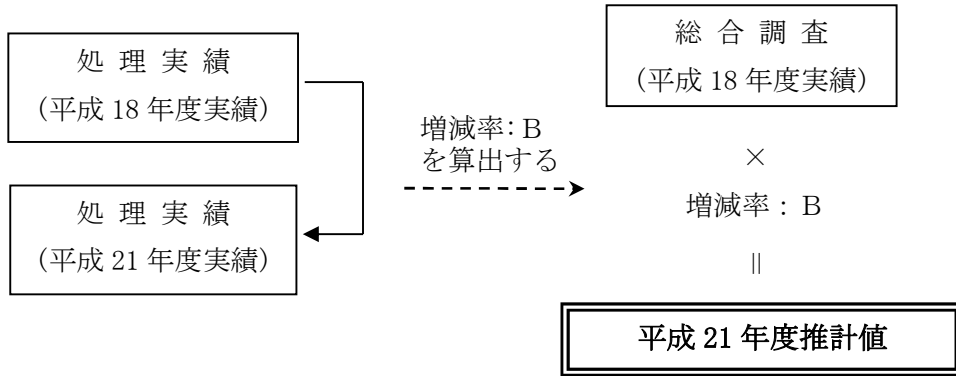


図 3.1-3 平成 21 年度委託処理後再生利用量の推計方法

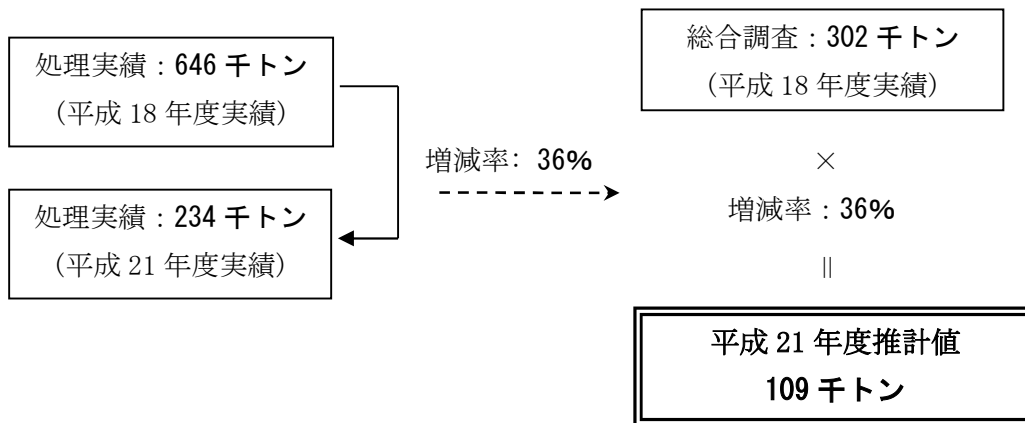


図 3.1-4 平成 21 年度委託処理後再生利用量の推計（計算例 建設業 汚泥）

④ 委託直接最終処分量及び委託処理後最終処分量の推計

最終処分量は、埋立処分量と海洋投入処分量に分けて推計した。

埋立処分量の推計方法は、委託処理後再生利用量と同様の方法で種類別に推計を行う。また、県内の埋立処分量、海洋投入処分量については、県から提供されるデータを用いた。

⑤ 処理処分量の補正

「排出量」「自己再生利用量」「自己最終処分量」「委託再生利用量」「委託最終利用量」を単独で推計しているため、処理過程において不整合が生じる。その不整合を以下の方法により補正した。対象は、減量が考えにくい「金属くず」「がれき類」「ばいじん」及び「再生利用量」「最終処分量」の合計値が「排出量」を上回る種類とした。

$$\begin{aligned} \text{(補正值 } \alpha) &= \text{(排出量 A)} - \text{(自己再生利用量 B)} - \text{(自己最終処分量 C)} \\ &\quad - \text{(委託再生利用量 D)} - \text{(委託最終処分量 E)} \end{aligned}$$

$$\text{(補正值 自己再生利用量 b)} = \alpha \times B / (B+C+D+E)$$

$$\text{(補正後 自己再生利用量 B')} = B + b$$

その他の項目についても同様

・減量が考えにくい廃棄物 計算例（建設業 金属くず）

(単位：千トン/年)

| | 排出量 (A) | 自己再生 利用量 (B) | 自己最終 処分量 (C) | 委託再生 利用量 (D) | 委託最終最 終処分量 (E) | 補正值 (α) |
|-----|------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|------------|
| 補正前 | 71 | 33 | 0 | 113 | 1 | -75 |
| 補正後 | 71 | 16 | 0 | 55 | 0 | |

$$\text{補正值 } (\alpha) = 71 - 33 - 0 - 113 - 1 = -75$$

$$\text{補正值 自己再生利用量 } b = -75 \times 33 / (33 + 0 + 113 + 1) = -17$$

$$\text{補正後 自己再生利用量 } B' = 33 + (-17) = 16$$

その他項目も同様に計算

・「再生利用量」「最終処分量」の合計値が「排出量」を上回る廃棄物 計算例（建設業 その他）

(単位：千トン/年)

| | 排出量 (A) | 自己再生 利用量 (B) | 自己最終 処分量 (C) | 委託再生 利用量 (D) | 委託最終最 終処分量 (E) | 補正值 (α) |
|-----|------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|------------|
| 補正前 | 24 | 23 | 0 | 22 | 11 | -33 |
| 補正後 | 24 | 10 | 0 | 10 | 5 | |

$$\text{補正值 } (\alpha) = 24 - 23 - 0 - 22 - 11 = -33$$

$$\text{補正值 自己再生利用量 } b = -33 \times 10 / (23 + 0 + 22 + 11) = -14$$

$$\text{補正後 自己再生利用量 } B' = 23 + (-14) = 10$$

その他項目も同様に計算

2) 推計結果（過年度推計方法）

過年度推計方法での推計結果は以下のとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が-8.4%、-5.4%と大幅な差は見受けられないが、再生利用量については誤差率-26.2%と大幅に差が見受けられる。これは、平成18年度に提出している事業者が平成21年度に未提出であるなど、未提出事業者の影響が大きいものと考えられる。

表 3.1-1 平成21年度における簡易推計値と総合調査との誤差（過年度推計方法）

(単位：千トン/年)

| 過年度推計方法 | 排出量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 委託再生利用量 | 委託埋立処分量 | 委託海洋投入量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 総合調査 | 17,162 | 1,071 | 4 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 15,716 | 878 | | 4,365 | 251 | 825 | 5,244 | 1,076 | 9,396 | 33.4% | 6.8% |
| 誤差 | -8.4% | -18.0% | -100% | -27.7% | -18.5% | 0.0% | -26.2% | -5.4% | 5.4% | - | - |

表 3.1-2 平成21年度における簡易推計値（過年度推計方法）

(単位：千トン/年)

| 種類 | 排出量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 委託再生利用量 | 委託埋立処分量 | 委託海洋投入量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 合計 | 15,716 | 878 | | 4,365 | 251 | 825 | 5,244 | 1,076 | 9,396 | 33.4% | 6.8% |
| 汚泥 | 9,694 | 492 | | 215 | 26 | 825 | 707 | 852 | 8,136 | 7.3% | 8.8% |
| がれき類 | 3,334 | 54 | | 3,126 | 153 | | 3,180 | 153 | | 95.4% | 4.6% |
| ばいじん | 424 | 215 | | 209 | 0 | | 423 | 0 | | 100.0% | 0.0% |
| 木くず | 587 | 5 | | 176 | 7 | | 181 | 7 | 399 | 30.8% | 1.2% |
| ガラス陶磁器くず | 252 | 19 | | 64 | 15 | | 82 | 15 | 155 | 32.7% | 5.8% |
| 金属くず | 265 | 25 | | 238 | 2 | | 263 | 2 | | 99.2% | 0.8% |
| 廃プラスチック類 | 185 | 3 | | 52 | 22 | | 54 | 22 | 109 | 29.3% | 11.8% |
| 鉱さい | 92 | | | 13 | 7 | | 13 | 7 | 72 | 14.3% | 7.6% |
| その他 | 883 | 66 | | 274 | 19 | | 339 | 19 | 524 | 38.4% | 2.1% |

3.2 簡易推計手法の見直し

(1) 未提出事業所について考慮したケース（ケース1）

① 推計方法

基本的な推計方法は従来の手法とするが、推計結果が提出の有無に大きく左右されるため、実績報告、処理業者データ共に、事業所毎に集計し全体の集計値を算出する際に以下の扱いとした。

表 3.2-1 データの取り扱い

| パターン | | | 平成 18 年度 | 平成 21 年度 |
|------|----------|----|--------------|--------------|
| 1 | 両年提出 | 提出 | ○ | ○ |
| | | 集計 | ○ | ○ |
| 2 | H18 のみ提出 | 提出 | ○ | × |
| | | 集計 | ○ | ●(H18 データ採用) |
| 3 | H21 のみ提出 | 提出 | × | ○ |
| | | 集計 | ●(H21 データ採用) | ○ |
| 4 | 両年未提出 | 提出 | × | × |
| | | 集計 | × | × |

② 推計結果

本推計方法での推計結果は以下のとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が－7.2%、1.3%と大幅な差は見受けられないが、再生利用量については誤差率－21.2%と多少は改善されているものの、大幅に差が見受けられる。

表 3.2-2 平成 21 年度における簡易推計値と総合調査との誤差（ケース1）

(単位：千トン/年)

| ケース1 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 総合調査 | 17,162 | 1,071 | 4 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 15,927 | 831 | | 4,772 | 327 | 825 | 5,603 | 1,153 | 9,171 | 35.2% | 7.2% |
| 誤差 | －7.2% | －22.4% | －100% | －21.0% | 6.3% | 0.0% | －21.2% | 1.3% | 2.9% | － | － |

表 3.2-3 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 1）

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|--------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 合 計 | 15,927 | 831 | | 4,772 | 327 | 825 | 5,603 | 1,153 | 9,171 | 35.2% | 7.2% |
| 汚泥 | 10,261 | 540 | | 357 | 28 | 825 | 897 | 853 | 8,511 | 8.7% | 8.3% |
| がれき類 | 3,328 | 47 | | 3,130 | 151 | | 3,177 | 151 | | 95.5% | 4.5% |
| ばいじん | 424 | 149 | | 274 | 0 | | 423 | 0 | | 100.0% | 0.0% |
| 木くず | 293 | 1 | | 189 | 6 | | 190 | 6 | 97 | 64.9% | 2.0% |
| ガラス陶 磁器くず | 225 | 8 | | 136 | 48 | | 144 | 48 | 33 | 64.2% | 21.3% |
| 金属くず | 259 | 32 | | 222 | 5 | | 254 | 5 | | 98.0% | 2.0% |
| 廃プラス チック類 | 201 | 2 | | 95 | 37 | | 97 | 37 | 67 | 48.2% | 18.6% |
| 鉱さい | 92 | | | 32 | 30 | | 32 | 30 | 30 | 34.8% | 32.6% |
| その他 | 844 | 53 | | 335 | 23 | | 388 | 23 | 434 | 45.9% | 2.7% |

(2) 実績報告を基本としたケース（ケース 2）

① 推計方法

従来手法、ケース 1 の手法では、委託再生利用量の誤差が大きいため、委託後についても「実績報告」のデータを基本とし、「処理実績」のデータを補助的に用いた。委託後の推計方法は、以下のとおりである。なお、埋立処分量についても同様の方法とする。

ただし、「農林漁業」「運輸・通信業」については実績報告のデータが無いため処理実績の増減率を採用した。

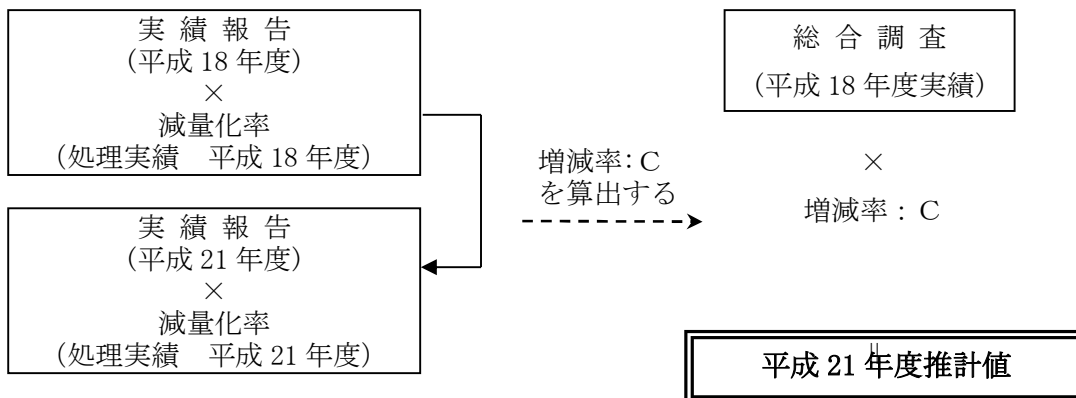


図 3.2-1 平成 21 年度委託再生利用量・埋立処分量の推計方法

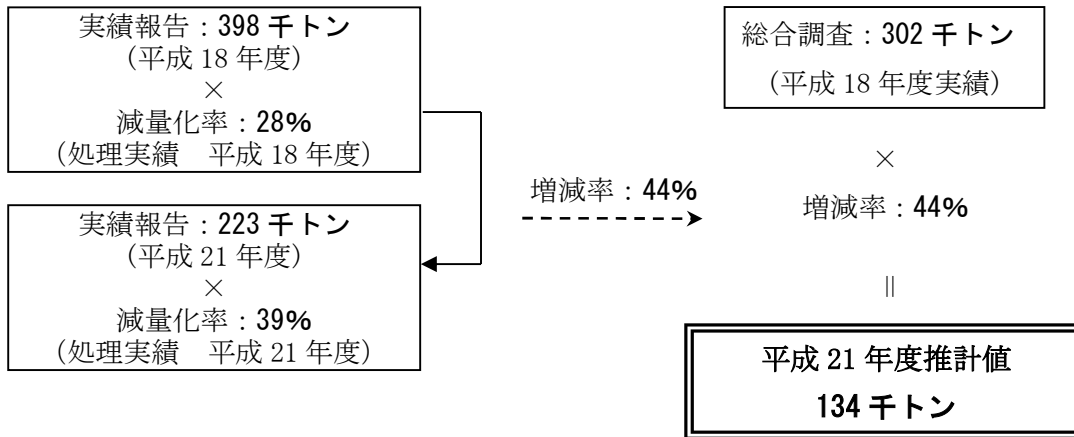


図 3.2-2 平成 21 年度委託再生利用量・埋立処分量の推計（計算例 建設業 汚泥）

② 推計結果

本推計方法での推計結果は以下のとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が－7.2%、－0.6%と大幅な差は見受けられないが、再生利用量については誤差率－18.0%と多少は改善されているものの、未だ大幅に差が見受けられる。

表 3.2-4 平成 21 年度における簡易推計値と総合調査との誤差（ケース 2）

(単位：千トン/年)

| ケース 2 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|-------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 総合調査 | 17,162 | 1,071 | 4 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 15,927 | 857 | | 4,972 | 306 | 825 | 5,829 | 1,131 | 8,966 | 36.6% | 7.1% |
| 誤差 | －7.2% | －20.0% | －100% | －17.6% | －0.7% | 0.0% | －18.0% | －0.6% | 0.6% | － | － |

表 3.2-5 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 2）

（単位：千トン/年）

| 種 類 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|--------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 合 計 | 15,927 | 857 | | 4,972 | 306 | 825 | 5,829 | 1,131 | 8,966 | 36.6% | 7.1% |
| 汚泥 | 10,261 | 540 | | 395 | 27 | 825 | 935 | 853 | 8,474 | 9.1% | 8.3% |
| がれき類 | 3,328 | 46 | | 3,092 | 189 | | 3,139 | 189 | | 94.3% | 5.7% |
| ばいじん | 424 | 166 | | 257 | 0 | | 423 | 0 | | 99.9% | 0.1% |
| 木くず | 293 | 1 | | 271 | 2 | | 272 | 2 | 19 | 92.9% | 0.7% |
| ガラス陶 磁器くず | 225 | 8 | | 168 | 26 | | 177 | 26 | 22 | 78.5% | 11.6% |
| 金属くず | 259 | 43 | | 213 | 4 | | 256 | 4 | | 98.5% | 1.5% |
| 廃プラス チック類 | 201 | 2 | | 115 | 25 | | 117 | 25 | 59 | 58.0% | 12.7% |
| 鋳さい | 92 | | | 79 | 13 | | 79 | 13 | | 86.3% | 13.8% |
| その他 | 844 | 51 | | 381 | 19 | | 433 | 19 | 393 | 51.3% | 2.2% |

(3) 実績報告を基本とし補正を行ったケース（ケース 3）

① 推計方法

ケース 2 の方法を基本とし、以下の補正を行った。

- ・神奈川県全体の数値が、限定された事業者（実績報告対象事業者）の数値を下回るとは考えにくいため、「推計値」が「実績報告」の数値を下回る場合については、「実績報告」の数値を採用する。
- ・「電気・ガス・水道業」については、「発生量」の把握時点が「総合調査」と「実績報告」とで異なる事業者が一部いるため、上記補正の対象外とした。

② 推計結果

本推計方法での推計結果は以下のとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が－3.4%、2.3%と大幅な差は見受けられない。また、再生利用量については誤差率－10.7%と大幅に改善されているものの、未だ差が見受けられる。

表 3.2-6 平成 21 年度における簡易推計値と総合調査との誤差（ケース 3）

(単位：千トン/年)

| ケース 3 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|-------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 総合調査 | 17,162 | 1,071 | 4 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 16,578 | 1,194 | | 5,155 | 338 | 825 | 6,349 | 1,164 | 9,065 | 38.3% | 7.0% |
| 誤差 | -3.4% | 11.5% | -100% | -14.6% | 9.8% | 0.0% | -10.7% | 2.3% | 1.7% | - | - |

表 3.2-7 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 3）

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|--------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 合 計 | 16,578 | 1,194 | | 5,155 | 338 | 825 | 6,349 | 1,164 | 9,065 | 38.3% | 7.0% |
| 汚泥 | 10,640 | 741 | | 483 | 52 | 825 | 1,224 | 878 | 8,539 | 11.5% | 8.2% |
| がれき類 | 3,347 | 46 | | 3,111 | 190 | | 3,157 | 190 | | 94.3% | 5.7% |
| ばいじん | 424 | 167 | | 257 | 0 | | 424 | 0 | | 99.9% | 0.1% |
| 木くず | 293 | 1 | | 271 | 2 | | 272 | 2 | 18 | 93.0% | 0.7% |
| ガラス陶 磁器くず | 283 | 27 | | 199 | 25 | | 226 | 25 | 32 | 79.9% | 8.9% |
| 金属くず | 259 | 43 | | 213 | 4 | | 256 | 4 | | 98.6% | 1.4% |
| 廃プラス チック類 | 201 | 2 | | 115 | 25 | | 117 | 25 | 59 | 58.1% | 12.7% |
| 鋳さい | 191 | 105 | | 73 | 11 | | 179 | 11 | 1 | 93.8% | 6.0% |
| その他 | 940 | 61 | | 433 | 28 | | 495 | 28 | 417 | 52.6% | 3.0% |

③ 再生利用率の推移

これまでのケースにおいて最も誤差の小さいケース 3 の推計結果について、種類ごとに再生利用率について比較した。表 3.2-8 に推移を示す。

総合調査と比較すると、がれき類についてのみ、再生利用率の傾向が異なっていることが分かる。

表 3.2-8 主な産業廃棄物における再生利用率の推移

| | 総合調査 | | | 簡易調査 | |
|----------|--------|---------|---------|--------|---|
| | 平成15年度 | 平成18年度 | 平成21年度 | 平成21年度 | |
| 汚泥 | 10.7% | 11.4% △ | 11.4% | 11.5% | △ |
| がれき類 | 95.7% | 95.7% | 97.0% △ | 94.3% | ▲ |
| ばいじん | 99.2% | 98.8% ▲ | 99.8% △ | 99.9% | △ |
| 木くず | 68.8% | 85.5% △ | 94.2% △ | 93.0% | △ |
| ガラス陶磁器くず | 64.2% | 71.9% △ | 91.1% △ | 79.9% | △ |
| 金属くず | 93.8% | 97.3% △ | 98.0% △ | 98.6% | △ |
| 廃プラスチック類 | 42.8% | 48.6% △ | 57.7% △ | 58.1% | △ |
| 鉱さい | 91.9% | 70.4% ▲ | 90.3% △ | 93.8% | △ |

※△（上昇）、▲（低下）は、前回調査と比較したものである。

(4) 総合調査の動向等を踏まえた補正を行ったケース（ケース4）

① 推計方法

(3) で記載したとおり、推計値におけるがれき類の再生利用率が総合調査の動向と異なっている。また、建設リサイクル法により、アスファルト塊、コンクリート塊は再生利用が義務づけられており、がれき類の再生利用率が減少するというのは考えにくいことから、がれき類の再生利用率を、平成15年度、平成18年度と同水準としてがれき類の再生利用率を95.7%として補正を行った。

② 推計結果

本推計方法での推計結果は以下のとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が-3.4%、-1.8%と大幅な差は見受けられない。また、再生利用量については誤差率-10.0%と更に改善されている。

表 3.2-9 平成21年度における簡易推計値と総合調査との誤差（ケース4）

(単位：千トン/年)

| ケース4 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 総合調査 | 17,162 | 1,071 | 4 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 16,578 | 1,194 | | 5,200 | 292 | 825 | 6,394 | 1,118 | 9,065 | 38.6% | 6.7% |
| 誤差 | -3.4% | 11.5% | -100% | -13.9% | -5.0% | 0.0% | -10.0% | -1.8% | 1.7% | - | - |

表 3.2-10 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 4）

（単位：千トン/年）

| 種 類 | 排出量 | 自己再生 利用量 | 自己最終 処分量 | 委託再生 利用量 | 委託埋立 処分量 | 委託海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|--------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|
| 合 計 | 16,578 | 1,194 | | 5,200 | 292 | 825 | 6,394 | 1,118 | 9,065 | 38.6% | 6.7% |
| 汚泥 | 10,640 | 741 | | 483 | 52 | 825 | 1,224 | 878 | 8,539 | 11.5% | 8.2% |
| がれき類 | 3,347 | 46 | | 3,157 | 144 | | 3,203 | 144 | | 95.7% | 4.3% |
| ばいじん | 424 | 167 | | 257 | 0 | | 424 | 0 | | 99.9% | 0.1% |
| 木くず | 293 | 1 | | 271 | 2 | | 272 | 2 | 18 | 93.0% | 0.7% |
| ガラス陶 磁器くず | 283 | 27 | | 199 | 25 | | 226 | 25 | 32 | 79.9% | 8.9% |
| 金属くず | 259 | 43 | | 213 | 4 | | 256 | 4 | | 98.6% | 1.4% |
| 廃プラス チック類 | 201 | 2 | | 115 | 25 | | 117 | 25 | 59 | 58.1% | 12.7% |
| 鋳さい | 191 | 105 | | 73 | 11 | | 179 | 11 | 1 | 93.8% | 6.0% |
| その他 | 940 | 61 | | 433 | 28 | | 495 | 28 | 417 | 52.6% | 3.0% |

(5) ケース 4 を基本とし、その他の項目についても推計を行ったケース（ケース 5）

① 推計方法

上記までのケースで最も誤差率が低かったケース 4 の方法を基本とし、その他の項目「自己未処理量」「自己中間処理量」「搬出量」「委託処理量」についても推計を行った。また、処理過程において生じた不整合については、以下のように補正を行った。

- ・「排出量」と「自己未処理量」+「自己中間処理量」が等しくならない場合

$$\text{「自己未処理量（補正後）」} = \text{「排出量」} \times \text{「自己未処理量（補正前）」} \div$$

$$\text{（「自己未処理量（補正前）」} + \text{「自己中間処理量（補正前）」）}$$

$$\text{「自己中間処理量（補正後）」} = \text{「排出量」} \times \text{「自己中間処理量（補正前）」} \div$$

$$\text{（「自己未処理量（補正前）」} + \text{「自己中間処理量（補正前）」）}$$

（計算例 建設業 汚泥）

（単位：千トン/年）

| | 排出量 | 自己 未処理量 | 自己 中間処理量 |
|-----|-------|------------|-------------|
| 補正前 | 1,013 | 798 | 197 |
| 補正後 | 1,013 | 813 | 200 |

$$\text{補正後 自己未処理量} = 1013 \times 798 / (798 + 197) = 813$$

$$\text{補正後 自己中間処理量} = 1013 \times 197 / (798 + 197) = 200$$

- ・「自己再生利用量」+「搬出量」>「排出量」となる場合

$$\text{「搬出量（補正後）」} = \text{「排出量」} - \text{「自己再生利用量」}$$

(計算例 建設業 金属くず)

(単位：千トン/年)

| | 排出量 | 自己再生利用量 | 搬出量 |
|-----|-----|---------|-----|
| 補正前 | 67 | 32 | 65 |
| 補正後 | 67 | 32 | 35 |

$$\text{補正後 搬出量} = 67 - 32 = 35$$

- ・「委託再生利用量」+「委託埋立量」>「委託処理量」となる場合

$$\text{（補正值）} = \text{「委託処理量」} - \text{「委託再生利用量（補正前）」} - \text{「委託埋立量（補正前）」}$$

$$\text{「委託再生利用量（補正後）」} = \text{「委託再生利用量（補正前）」} + \text{（補正量）} \times \text{「委託再生利用量（補正前）」}$$

$$\div \text{（「委託再生利用量（補正前）」} + \text{「委託埋立量（補正前）」}$$

(計算例 建設業 金属くず)

(単位：千トン/年)

| | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 補正值 |
|-----|-------|---------|---------|-----|
| 補正前 | 35 | 67 | 0 | -33 |
| 補正後 | 35 | 35 | 0 | |

$$\text{補正值} = 35 - 67 - 0 = -33$$

$$\text{補正後 委託再生利用量} = 67 + (-33 \times 67 / (35 + 0)) = 35$$

② 推計結果

本推計方法での推計結果は以下のとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が-3.4%、-2.1%と大幅な差は見受けられない。また、再生利用量については誤差率-10.3%とケース4と同程度のものとなっている。

表 3.2-11 平成 21 年度における簡易推計値と総合調査との誤差（ケース 5）

(単位：千トン/年)

| ケース 5 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託埋立処分量 | 委託海洋投入量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|-------|--------|---------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 総合調査 | 17,162 | 9,451 | 7,711 | 1,071 | 4 | 8,002 | 7,959 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 16,578 | 10,107 | 6,470 | 1,243 | | 6,617 | 6,617 | 5,134 | 288 | 825 | 6,377 | 1,114 | 9,087 | 38.5% | 6.7% |
| 誤差 | -3.4% | 6.9% | -16.1% | 16.1% | -100% | -17.3% | -16.9% | -15.0% | -6.4% | 0.0% | -10.3% | -2.1% | 1.9% | - | - |

表 3.2-12 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 5）

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己 中間 処理量 | 自己 未処 理量 | 自己 再生 利用量 | 自己 最終 処分量 | 搬出量 | 委託 処理量 | 委託 再生 利用量 | 委託 埋立 処分量 | 委託 海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量 化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|---------------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 合 計 | 16,578 | 10,107 | 6,470 | 1,243 | | 6,617 | 6,617 | 5,134 | 288 | 825 | 6,377 | 1,114 | 9,087 | 38.5% | 6.7% |
| 汚泥 | 10,640 | 9,502 | 1,138 | 741 | | 1,551 | 1,551 | 466 | 52 | 825 | 1,207 | 878 | 8,556 | 11.3% | 8.2% |
| がれき類 | 3,347 | 49 | 3,298 | 47 | | 3,300 | 3,300 | 3,156 | 145 | | 3,202 | 145 | | 95.7% | 4.3% |
| ばいじん | 424 | | 424 | 165 | | 259 | 259 | 259 | 0 | | 424 | 0 | | 99.9% | 0.1% |
| 木くず | 293 | 7 | 286 | 1 | | 291 | 291 | 271 | 2 | | 272 | 2 | 18 | 93.0% | 0.7% |
| ガラス陶 磁器くず | 283 | 72 | 211 | 27 | | 219 | 219 | 194 | 25 | | 221 | 25 | 37 | 78.1% | 8.9% |
| 金属くず | 259 | 45 | 214 | 52 | | 207 | 207 | 204 | 4 | | 256 | 4 | | 98.6% | 1.4% |
| 廃 プラス チック類 | 201 | 22 | 179 | 2 | | 194 | 194 | 115 | 25 | | 117 | 25 | 59 | 58.1% | 12.6% |
| 鉱さい | 191 | 1 | 190 | 142 | | 49 | 49 | 42 | 6 | | 184 | 6 | 1 | 96.4% | 3.3% |
| その他 | 940 | 408 | 531 | 66 | | 547 | 547 | 429 | 28 | | 495 | 28 | 417 | 52.6% | 3.0% |

③ 処理フロー図（簡易調査版）

簡易推計（ケース 5）の処理処分状況は図 3.2-2 に示すとおりである。

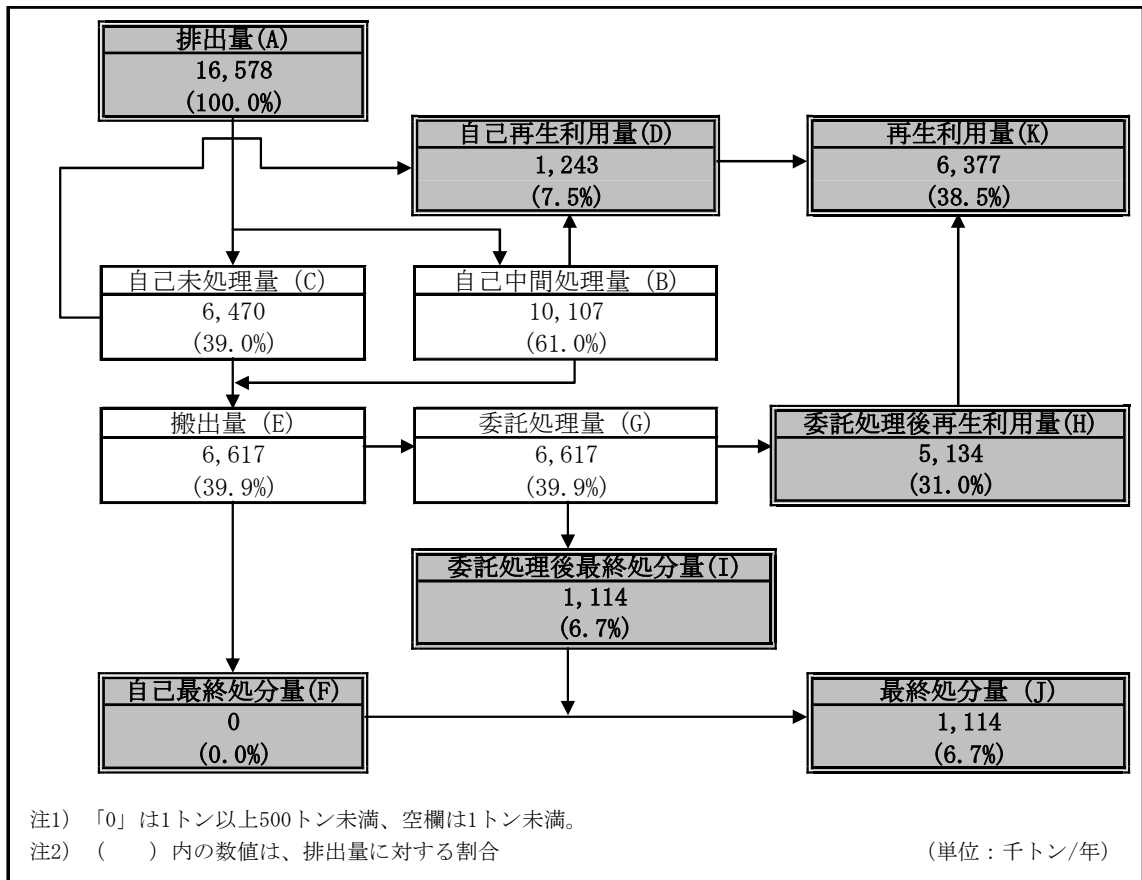


図 3.2-3 推計結果（ケース 5 平成 21 年度処理処分状況）

(6) ケース5を基本とし、委託最終処分量を埋立と海洋投入を分けずに推計したケース（ケース6）

① 推計方法

これまでのケースは委託最終処分量を埋立処分と海洋投入に分けて推計を行っていたが、平成22年度の「実績報告」の様式が変更となり、委託最終処分については埋立処分と海洋投入で分けられた報告がされていないため、推計方法を一部変更する必要がある。そこで、これまで埋立処分量を実績報告の変動により推計していたものを、委託最終処分量全体として推計する方法とした。

また、県内埋立処分量と海洋投入量については、実績値が存在するため、上記による推計値と実績値の不整合を以下の方法で補正した。

- ・「委託最終処分量 推計値」 < 「県内埋立処分量 実績値」 + 「海洋投入量 実績値」の場合
「委託最終処分量 推計値」 = 「県内埋立処分量 実績値」 + 「海洋投入量 実績値」

(計算例 汚泥)

(単位：千トン/年)

| | 委託 最終処分量 | 県内 埋立処分量 | 海洋投入量 |
|-----|-------------|-------------|-------|
| 補正前 | 776 | 5 | 825 |
| 補正後 | 830 | 5 | 825 |

補正後 委託最終処分量 = 5 + 825 = 830

② 推計結果

本推計方法での推計結果は表3.2-13～3.2-15及び図3.2-3に示すとおりである。排出量、最終処分量については誤差率が-3.4%、-6.5%と大幅な差は見受けられない。また、再生利用量については誤差率-10.3%となっている。

表3.2-13 平成21年度における簡易推計値と総合調査との誤差（ケース6）

(単位：千トン/年)

| ケース6 | 排出量 | 自己 中間 処理量 | 自己 未処 理量 | 自己 再生 利用量 | 自己 最終 処分量 | 搬出量 | 委託 処理量 | 委託 再生 利用量 | 委託 埋立 処分量 | 委託 海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量 化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|--------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 総合調査 | 17,162 | 9,451 | 7,711 | 1,071 | 4 | 8,002 | 7,959 | 6,038 | 308 | 826 | 7,109 | 1,138 | 8,915 | 41.4% | 6.6% |
| 簡易推計 | 16,578 | 10,107 | 6,470 | 1,243 | | 6,617 | 6,617 | 5,136 | 239 | 825 | 6,379 | 1,064 | 9,135 | 38.5% | 6.4% |
| 誤差 | -3.4% | 6.9% | -16.1% | 16.1% | -100% | -17.3% | -16.9% | -14.9% | -22.5% | 0.0% | -10.3% | -6.5% | 2.5% | - | - |

表 3.2-14 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 6 種類別）

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己 中間 処理量 | 自己 未処 理量 | 自己 再生 利用量 | 自己 最終 処分量 | 搬出量 | 委託 処理量 | 委託 再生 利用量 | 委託 埋立 処分量 | 委託 海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量 化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|--------------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 合 計 | 16,578 | 10,107 | 6,470 | 1,243 | | 6,617 | 6,617 | 5,136 | 239 | 825 | 6,379 | 1,064 | 9,135 | 38.5% | 6.4% |
| 汚泥 | 10,640 | 9,502 | 1,138 | 741 | | 1,551 | 1,551 | 466 | 5 | 825 | 1,207 | 830 | 8,603 | 11.3% | 7.8% |
| がれき類 | 3,347 | 49 | 3,298 | 47 | | 3,300 | 3,300 | 3,158 | 143 | | 3,204 | 143 | | 95.7% | 4.3% |
| ばいじん | 424 | | 424 | 165 | | 259 | 259 | 259 | 0 | | 424 | 0 | | 99.9% | 0.1% |
| 木くず | 293 | 7 | 286 | 1 | | 291 | 291 | 271 | 2 | | 272 | 2 | 18 | 93.0% | 0.7% |
| ガラス陶 磁器くず | 283 | 72 | 211 | 27 | | 219 | 219 | 194 | 25 | | 221 | 25 | 37 | 78.1% | 8.9% |
| 金属くず | 259 | 45 | 214 | 52 | | 207 | 207 | 203 | 4 | | 256 | 4 | | 98.6% | 1.4% |
| 廃プラス チック類 | 201 | 22 | 179 | 2 | | 194 | 194 | 115 | 25 | | 117 | 25 | 59 | 58.1% | 12.6% |
| 鉱さい | 191 | 1 | 190 | 142 | | 49 | 49 | 42 | 6 | | 184 | 6 | 1 | 96.4% | 3.3% |
| その他 | 940 | 408 | 531 | 66 | | 547 | 547 | 429 | 28 | | 495 | 28 | 417 | 52.6% | 3.0% |

表 3.2-15 平成 21 年度における簡易推計値（ケース 6 業種別）

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己 中間 処理量 | 自己 未処 理量 | 自己 再生 利用量 | 自己 最終 処分量 | 搬出量 | 委託 処理量 | 委託 再生 利用量 | 委託 埋立 処分量 | 委託 海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量 化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|----------------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 合 計 | 16,578 | 10,107 | 6,470 | 1,243 | | 6,617 | 6,617 | 5,136 | 239 | 825 | 6,379 | 1,064 | 9,135 | 38.5% | 6.4% |
| 農林漁業 | 182 | 102 | 79 | 41 | | 81 | 81 | 78 | | | 119 | 0 | 63 | 65.5% | 0.0% |
| 鉱業 | 1,146 | 1,146 | 0 | 507 | | 0 | 0 | 0 | | | 507 | | 638 | 44.3% | |
| 建設業 | 4,874 | 272 | 4,602 | 80 | | 4,579 | 4,579 | 3,730 | | 500 | 3,810 | 714 | 349 | 78.2% | 14.7% |
| 製造業 | 4,323 | 2,966 | 1,357 | 603 | | 1,462 | 1,462 | 908 | | 325 | 1,511 | 327 | 2,485 | 35.0% | 7.6% |
| 電気・ガス・ 水道業 | 5,877 | 5,591 | 285 | 12 | | 346 | 346 | 312 | | | 323 | 2 | 5,551 | 5.5% | 0.0% |
| 運輸・通信業 | 18 | 0 | 17 | | | 18 | 18 | 13 | | | 13 | 1 | 3 | 76.5% | 6.9% |
| 卸・小売業 | 47 | 1 | 46 | 0 | | 47 | 47 | 31 | | | 32 | 9 | 6 | 67.0% | 19.2% |
| 医療・福祉 サービス業 | 113 | 30 | 83 | 0 | | 85 | 85 | 62 | | | 62 | 11 | 39 | 55.4% | 9.6% |

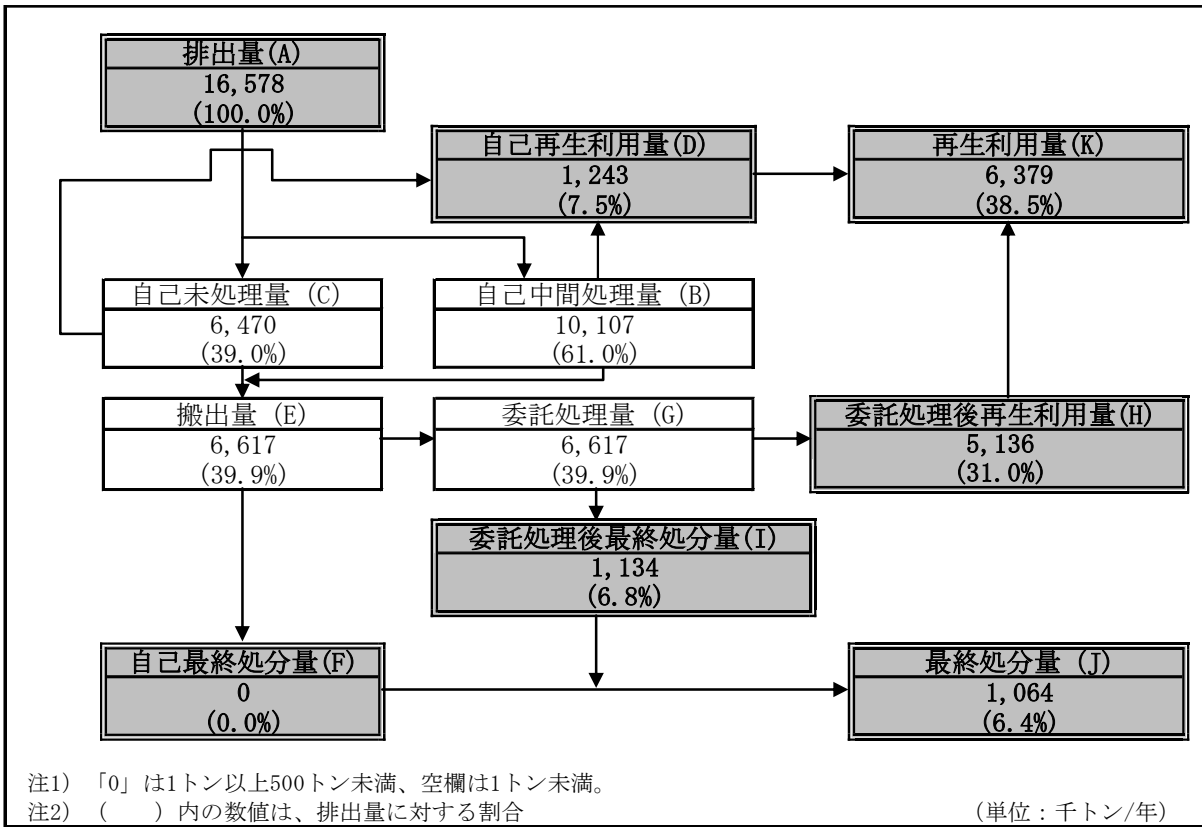


図 3.2-3 推計結果 (ケース 6 平成 21 年度処理処分状況)

表3.2-16 (1) 排出量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 16,578 | 182 | 1,146 | 4,874 | 4,323 | 5,877 | 18 | 47 | 113 |
| 汚泥 | 10,640 | | 1,146 | 1,013 | 2,781 | 5,637 | 2 | 3 | 59 |
| がれき類 | 3,347 | | | 3,298 | 32 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| ばいじん | 424 | | | 0 | 215 | 209 | | | 0 |
| 木くず | 293 | | | 242 | 51 | | | | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 283 | 0 | | 113 | 167 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 金属くず | 259 | 0 | 0 | 67 | 169 | 0 | 2 | 15 | 6 |
| 廃プラスチック類 | 201 | 0 | 0 | 49 | 116 | 0 | 4 | 18 | 15 |
| 鉱さい | 191 | | | 3 | 188 | | | | 0 |
| その他 | 940 | 181 | 0 | 88 | 604 | 30 | 1 | 10 | 23 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (2) 自己中間処理量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|--------|------|-------|-----|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 10,107 | 102 | 1,146 | 272 | 2,966 | 5,591 | 0 | 1 | 30 |
| 汚泥 | 9,502 | | 1,146 | 200 | 2,537 | 5,591 | 0 | 0 | 28 |
| がれき類 | 49 | | | 45 | 4 | | | | |
| ばいじん | | | | | | | | | |
| 木くず | 7 | | | 7 | 0 | | | | |
| ガラス陶磁器くず | 72 | | | 4 | 68 | | | | 0 |
| 金属くず | 45 | | | 10 | 35 | | | 1 | 0 |
| 廃プラスチック類 | 22 | | | 4 | 17 | | 0 | 0 | 0 |
| 鉱さい | 1 | | | | 1 | | | | |
| その他 | 408 | 102 | | 1 | 304 | | 0 | 0 | 1 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (3) 自己未処理量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 6,470 | 79 | 0 | 4,602 | 1,357 | 285 | 17 | 46 | 83 |
| 汚泥 | 1,138 | | | 813 | 244 | 46 | 2 | 3 | 31 |
| がれき類 | 3,298 | | | 3,253 | 28 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| ばいじん | 424 | | | 0 | 215 | 209 | | | 0 |
| 木くず | 286 | | | 235 | 51 | | | | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 211 | 0 | | 109 | 99 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 金属くず | 214 | 0 | 0 | 58 | 133 | 0 | 2 | 14 | 6 |
| 廃プラスチック類 | 179 | 0 | 0 | 44 | 99 | 0 | 4 | 17 | 15 |
| 鉱さい | 190 | | | 3 | 187 | | | | 0 |
| その他 | 531 | 79 | 0 | 87 | 300 | 30 | 1 | 10 | 22 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (4) 自己再生利用量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|-----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 1,243 | 41 | 507 | 80 | 603 | 12 | | 0 | 0 |
| 汚泥 | 741 | | 507 | | 230 | 4 | | | |
| がれき類 | 47 | | | 46 | 1 | | | | |
| ばいじん | 165 | | | | 165 | | | | |
| 木くず | 1 | | | 1 | 0 | | | | |
| ガラス陶磁器くず | 27 | | | 0 | 27 | | | | |
| 金属くず | 52 | | | 32 | 20 | 0 | | 0 | 0 |
| 廃プラスチック類 | 2 | | | 0 | 2 | | | 0 | 0 |
| 鉱さい | 142 | | | | 142 | | | | |
| その他 | 66 | 41 | | 1 | 17 | 7 | | 0 | 0 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (5) 搬出量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 6,617 | 81 | 0 | 4,579 | 1,462 | 346 | 18 | 47 | 85 |
| 汚泥 | 1,551 | | | 801 | 600 | 114 | 2 | 3 | 32 |
| がれき類 | 3,300 | | | 3,252 | 32 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| ばいじん | 259 | | | 0 | 50 | 209 | | | 0 |
| 木くず | 291 | | | 241 | 50 | | | | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 219 | 0 | | 113 | 103 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 金属くず | 207 | 0 | 0 | 35 | 149 | | 2 | 15 | 6 |
| 廃プラスチック類 | 194 | 0 | 0 | 49 | 110 | 0 | 4 | 17 | 15 |
| 鉱さい | 49 | | | 3 | 46 | | | | 0 |
| その他 | 547 | 81 | 0 | 86 | 322 | 23 | 1 | 10 | 23 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (6) 自己最終処分量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|----|------|----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | | | | | | | | | |
| 汚泥 | | | | | | | | | |
| がれき類 | | | | | | | | | |
| ばいじん | | | | | | | | | |
| 木くず | | | | | | | | | |
| ガラス陶磁器くず | | | | | | | | | |
| 金属くず | | | | | | | | | |
| 廃プラスチック類 | | | | | | | | | |
| 鉱さい | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (7) 委託処理量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 6,617 | 81 | 0 | 4,579 | 1,462 | 346 | 18 | 47 | 85 |
| 汚泥 | 1,551 | | | 801 | 600 | 114 | 2 | 3 | 32 |
| がれき類 | 3,300 | | | 3,252 | 32 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| ばいじん | 259 | | | 0 | 50 | 209 | | | 0 |
| 木くず | 291 | | | 241 | 50 | | | | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 219 | 0 | | 113 | 103 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 金属くず | 207 | 0 | 0 | 35 | 149 | | 2 | 15 | 6 |
| 廃プラスチック類 | 194 | 0 | 0 | 49 | 110 | 0 | 4 | 17 | 15 |
| 鉱さい | 49 | | | 3 | 46 | | | | 0 |
| その他 | 547 | 81 | 0 | 86 | 322 | 23 | 1 | 10 | 23 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (8) 委託処理後再生利用量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 5,136 | 78 | 0 | 3,730 | 908 | 312 | 13 | 31 | 62 |
| 汚泥 | 466 | | | 165 | 190 | 80 | 0 | 1 | 30 |
| がれき類 | 3,158 | | | 3,122 | 19 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| ばいじん | 259 | | | 0 | 50 | 209 | | | 0 |
| 木くず | 271 | | | 233 | 38 | | | | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 194 | | | 90 | 102 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 金属くず | 203 | 0 | 0 | 35 | 148 | | 2 | 13 | 5 |
| 廃プラスチック類 | 115 | 0 | | 42 | 57 | 0 | 2 | 8 | 5 |
| 鉱さい | 42 | | | 2 | 40 | | | | |
| その他 | 429 | 78 | 0 | 40 | 265 | 23 | 1 | 9 | 14 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (9) 委託処理後最終処分量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 1,064 | 0 | | 714 | 327 | 2 | 1 | 9 | 11 |
| 汚泥 | 830 | | | 541 | 285 | 2 | 0 | 1 | 2 |
| がれき類 | 143 | | | 130 | 13 | | | 0 | 0 |
| ばいじん | 0 | | | | 0 | | | | 0 |
| 木くず | 2 | | | 1 | 1 | | | | |
| ガラス陶磁器くず | 25 | | | 23 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 金属くず | 4 | | | 0 | 1 | | 0 | 2 | 0 |
| 廃プラスチック類 | 25 | 0 | | 6 | 11 | 0 | 1 | 5 | 3 |
| 鉱さい | 6 | | | | 6 | | | | |
| その他 | 28 | 0 | | 14 | 8 | 0 | 0 | 1 | 5 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (10) 最終処分量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 1,064 | 0 | | 714 | 327 | 2 | 1 | 9 | 11 |
| 汚泥 | 830 | | | 541 | 285 | 2 | 0 | 1 | 2 |
| がれき類 | 143 | | | 130 | 13 | | | 0 | 0 |
| ばいじん | 0 | | | | 0 | | | | 0 |
| 木くず | 2 | | | 1 | 1 | | | | |
| ガラス陶磁器くず | 25 | | | 23 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 金属くず | 4 | | | 0 | 1 | | 0 | 2 | 0 |
| 廃プラスチック類 | 25 | 0 | | 6 | 11 | 0 | 1 | 5 | 3 |
| 鉱さい | 6 | | | | 6 | | | | |
| その他 | 28 | 0 | | 14 | 8 | 0 | 0 | 1 | 5 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表3.2-16 (11) 再生利用量 (ケース6 平成21年度推計値)

(単位:千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|-----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 6,379 | 119 | 507 | 3,810 | 1,511 | 323 | 13 | 32 | 62 |
| 汚泥 | 1,207 | | 507 | 165 | 420 | 84 | 0 | 1 | 30 |
| がれき類 | 3,204 | | | 3,168 | 20 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| ばいじん | 424 | | | 0 | 215 | 209 | | | 0 |
| 木くず | 272 | | | 234 | 38 | | | | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 221 | | | 90 | 129 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 金属くず | 256 | 0 | 0 | 67 | 168 | 0 | 2 | 13 | 5 |
| 廃プラスチック類 | 117 | 0 | | 43 | 59 | 0 | 2 | 8 | 5 |
| 鉱さい | 184 | | | 2 | 182 | | | | |
| その他 | 495 | 119 | 0 | 41 | 282 | 30 | 1 | 9 | 14 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

3.3 簡易推計による平成 22 年度における産業廃棄物の排出量等の推計

(1) 回収状況

処理業者に対して実施したアンケート調査票の回収状況は以下のとおりであり、回収率は 82.2%であった。

表 3.3-1 回収状況

| 発送 | 回収 | 回収率 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| 371 件 | 305 件 | 82.2 % | 299 件 | 80.6 % |

(2) 結果の概要

「3.2 簡易推計手法の見直し」のケース 6 の推計方法を用いて、平成 22 年度の排出量等の推計を行った。結果を図 3.3-1、表 3.3-2、3.3-3 に示す。

平成 22 年度の排出量は 18,207 千トンとなった。このうち、自己再生利用量は 1,367 千トン、自己最終処分量は 4 千トンであった。また、委託処理後の再生利用量は 6,669 千トン、最終処分量は 1,126 千トンである。県内で排出した産業廃棄物は、8,036 千トン(排出量比 44.1%)が再生利用され、1,131 千トン(排出量比 6.2%)が最終処分されている。

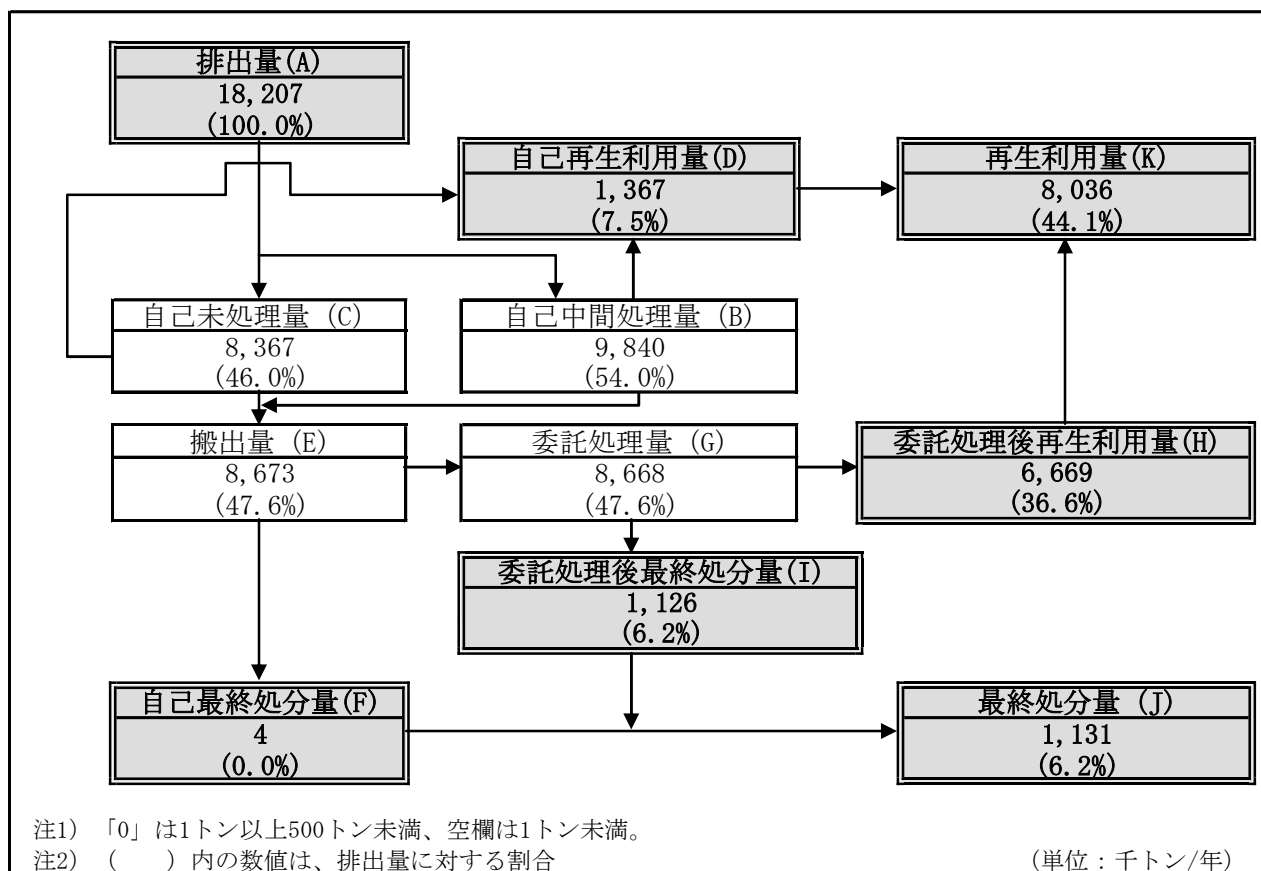


図 3.3-1 推計結果 (平成 22 年度推計値)

表 3.3-2 平成 22 年度推計値（種類別）

（単位：千トン/年）

| 種 類 | 排出量 | 自己 中間 処理量 | 自己 未処 理量 | 自己 再生 利用量 | 自己 最終 処分量 | 搬出量 | 委託 処理量 | 委託 再生 利用量 | 委託 埋立 処分量 | 委託 海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量 化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|--------------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 合 計 | 18,207 | 9,840 | 8,367 | 1,367 | 4 | 8,673 | 8,668 | 6,669 | 341 | 785 | 8,036 | 1,131 | 9,040 | 44.1% | 6.2% |
| 汚泥 | 10,787 | 9,401 | 1,386 | 717 | 3 | 2,103 | 2,100 | 748 | 14 | 785 | 1,465 | 803 | 8,520 | 13.6% | 7.4% |
| 有機性 | 6,154 | 5,944 | 209 | 20 | 2 | 295 | 291 | 200 | 3 | | 220 | 5 | 5,929 | 3.6% | 0.1% |
| 無機性 | 4,633 | 3,457 | 1,177 | 696 | 1 | 1,809 | 1,809 | 549 | 11 | 785 | 1,245 | 798 | 2,591 | 26.9% | 17.2% |
| がれき類 | 4,133 | 58 | 4,075 | 58 | | 4,076 | 4,076 | 3,952 | 124 | | 4,009 | 124 | | 97.0% | 3.0% |
| ばいじん | 522 | 0 | 522 | 264 | | 258 | 258 | 258 | 1 | | 521 | 1 | | 99.9% | 0.1% |
| 木くず | 357 | 3 | 355 | 1 | | 347 | 347 | 323 | 20 | | 324 | 20 | 14 | 90.6% | 5.5% |
| ガラス陶 磁器くず | 421 | 84 | 337 | 25 | | 390 | 390 | 354 | 35 | | 379 | 35 | 6 | 90.1% | 8.4% |
| 金属くず | 298 | 14 | 284 | 54 | | 244 | 244 | 236 | 8 | | 290 | 8 | | 97.4% | 2.6% |
| 廃プラス チック類 | 326 | 14 | 313 | 7 | | 290 | 290 | 159 | 62 | | 166 | 62 | 98 | 50.9% | 19.1% |
| 鋳さい | 236 | | 236 | 189 | | 47 | 47 | 23 | 24 | | 212 | 24 | 0 | 89.9% | 10.1% |
| その他 | 1,125 | 266 | 859 | 53 | 1 | 918 | 918 | 617 | 53 | | 670 | 54 | 402 | 59.5% | 4.8% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

表 3.3-3 平成 22 年度推計値（業種別）

（単位：千トン/年）

| 種 類 | 排出量 | 自己 中間 処理量 | 自己 未処 理量 | 自己 再生 利用量 | 自己 最終 処分量 | 搬出量 | 委託 処理量 | 委託 再生 利用量 | 委託 埋立 処分量 | 委託 海洋 投入量 | 再生 利用量 | 最終 処分量 | 減量 化量 | 再生 利用率 | 最終 処分率 |
|----------------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| 合 計 | 18,207 | 9,840 | 8,367 | 1,367 | 4 | 8,673 | 8,668 | 6,669 | 341 | 785 | 8,036 | 1,131 | 9,040 | 44.1% | 6.2% |
| 農林漁業 | 205 | 53 | 151 | 33 | | 154 | 154 | 129 | 0 | | 162 | 0 | 42 | 79.4% | 0.0% |
| 鉱業 | 1,280 | 1,279 | 0 | 445 | | 0 | 0 | 0 | | | 445 | | 834 | 34.8% | |
| 建設業 | 5,541 | 58 | 5,483 | 59 | | 5,443 | 5,443 | 4,706 | 228 | 364 | 4,764 | 592 | 184 | 86.0% | 10.7% |
| 製造業 | 4,927 | 2,716 | 2,210 | 823 | 4 | 2,437 | 2,433 | 1,376 | 92 | 421 | 2,199 | 517 | 2,211 | 44.6% | 10.5% |
| 電気・ガス・ 水道業 | 6,084 | 5,705 | 379 | 7 | | 494 | 494 | 350 | 3 | | 358 | 3 | 5,724 | 5.9% | 0.0% |
| 運輸・通信業 | 18 | 0 | 18 | 0 | | 18 | 18 | 15 | 2 | | 15 | 2 | 1 | 81.8% | 12.3% |
| 卸・小売業 | 56 | 1 | 55 | | | 56 | 56 | 48 | 5 | | 48 | 5 | 3 | 85.8% | 9.7% |
| 医療・福祉 サービス業 | 97 | 27 | 70 | 0 | 0 | 71 | 71 | 45 | 11 | | 45 | 11 | 42 | 46.1% | 11.2% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

(3) 排出、処理・処分状況

① 排出量

平成 22 年度の排出量は 18,207 千トンであり、平成 21 年度と比べ約 6%増加している。

排出の状況を種類別にみると汚泥が約 59%と最も高い割合を示しており、次いでがれき類が約 23%となっており、平成 21 年度の結果と同様な傾向を示している。

また、業種別にみると電気・ガス・水道業が約 33%で最も高い割合を示しており、次いで建設業が約 30%、製造業が約 27%となっており、平成 21 年度の結果と同様な傾向を示している。

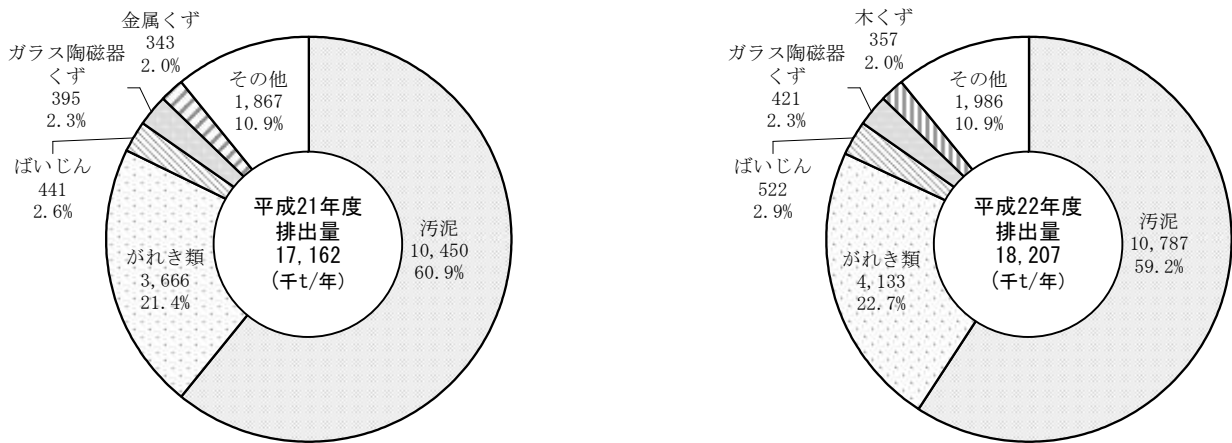


図 3.3-2 種類別の排出量 (平成 21 年度、平成 22 年度推計値)

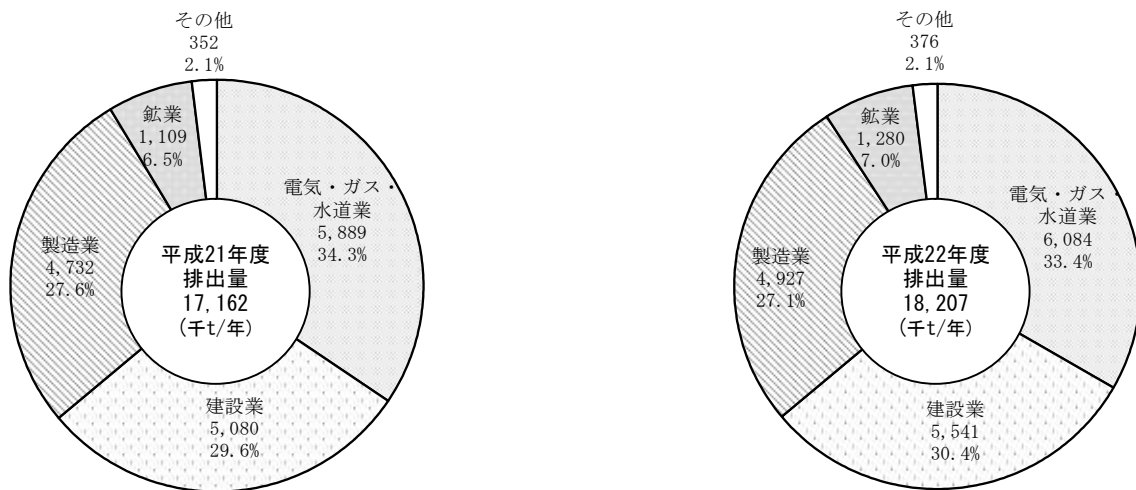


図 3.3-3 業種別の排出量 (平成 21 年度、平成 22 年度推計値)

② 再生利用量

平成 22 年度の再生利用量は 8,036 千トンであり、平成 21 年度に比べ約 13%増加している。

再生利用の状況を種類別にみるとがれき類が約 50%と最も高い割合を示しており、次いで汚泥が約 18%となっており、平成 21 年度の結果と同様な傾向を示している。

また、業種別にみると建設業が約 59%で最も高い割合を示しており、次いで製造業が約 27%となっており、平成 21 年度の結果と同様な傾向を示している。

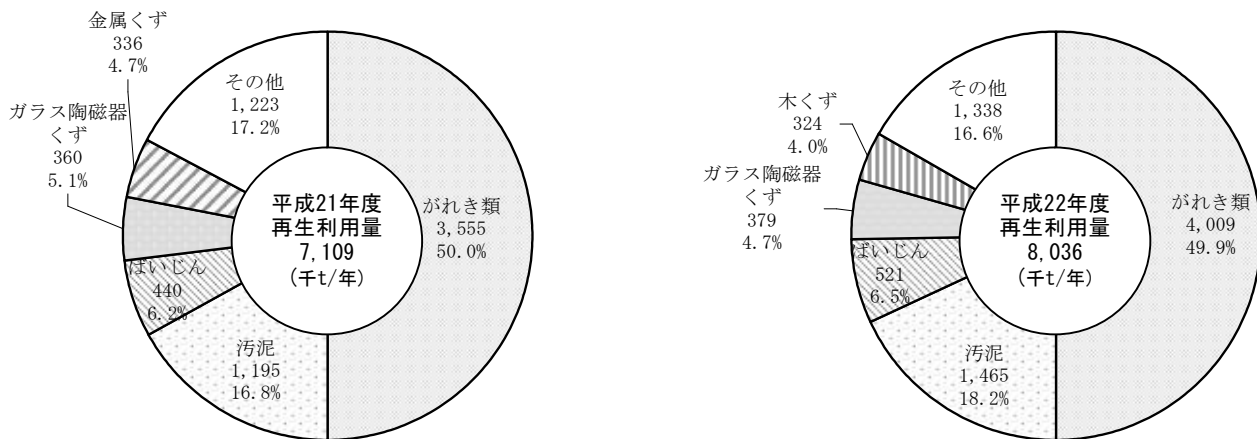


図 3.3-4 種類別の再生利用量 (平成 21 年度、平成 22 年度推計値)

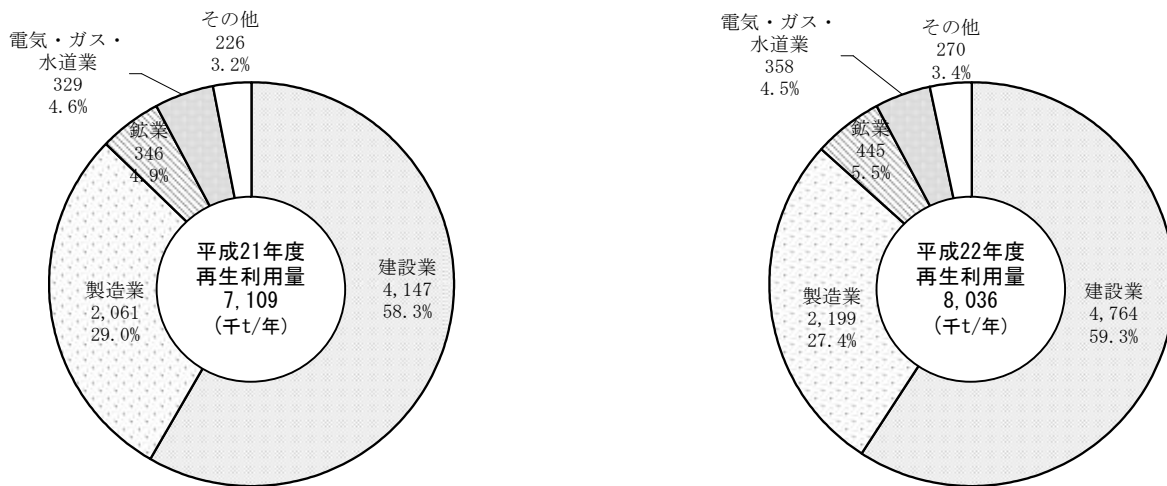


図 3.3-5 業種別の再生利用量 (平成 21 年度、平成 22 年度推計値)

③ 最終処分量

平成 22 年度の最終処分量は 1,131 千トンであり、平成 21 年度と比べ約 1%減少している。

最終処分の状況を種類別にみると汚泥が約 71%と最も高い割合を示しており、次いでがれき類が約 11%となっており、平成 21 年度結果と同様な傾向を示しているが、汚泥の割合が若干低くなっている。その他については、その他混合廃棄物、鉱さい、燃え殻、木くずが大きな割合を占めていた。

また、業種別にみると建設業が約 52%で最も高い割合を示しており、次いで製造業が約 46%となっており、平成 21 年度結果と同様な傾向を示している。

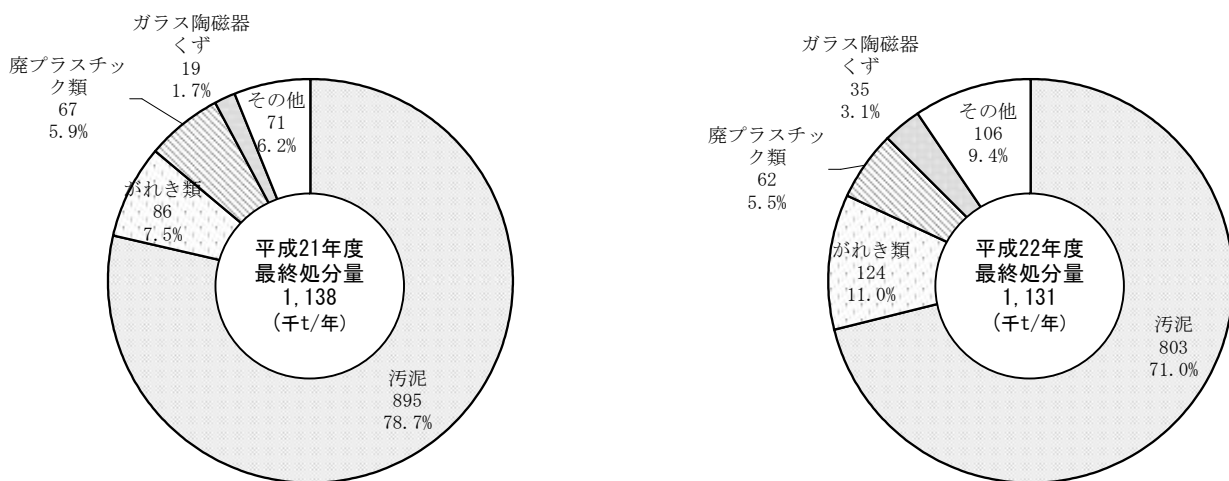


図 3.3-6 種類別の最終処分量 (平成 21 年度、平成 22 年度推計値)

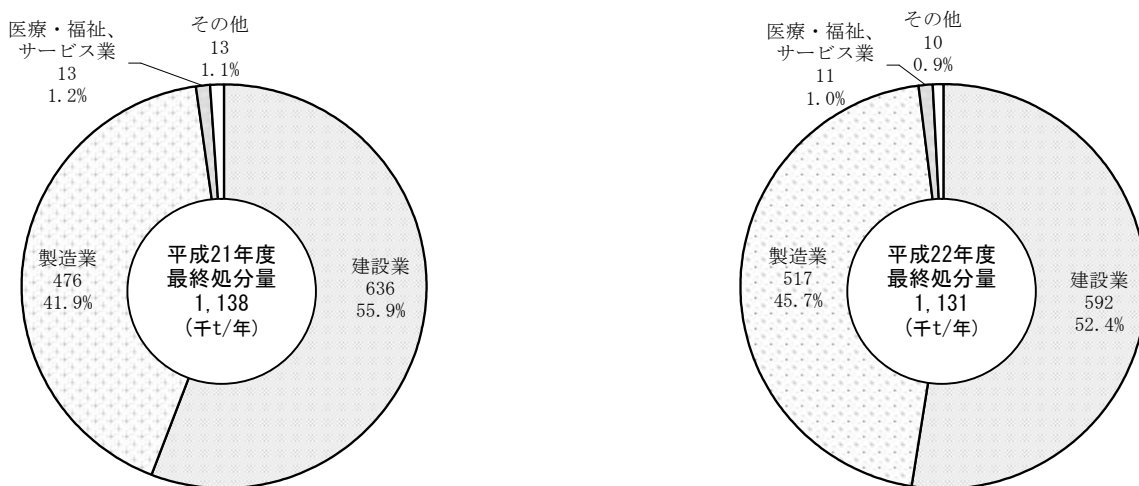


図 3.3-7 業種別の最終処分量 (平成 21 年度、平成 22 年度推計値)

④ 処理・処分状況

種類別の処理・処分状況は、ばいじん、がれき類、金属くずで再生利用率が高くなっていった。業種別にみると、建設業、卸・小売業で再生利用率が高くなっていった。

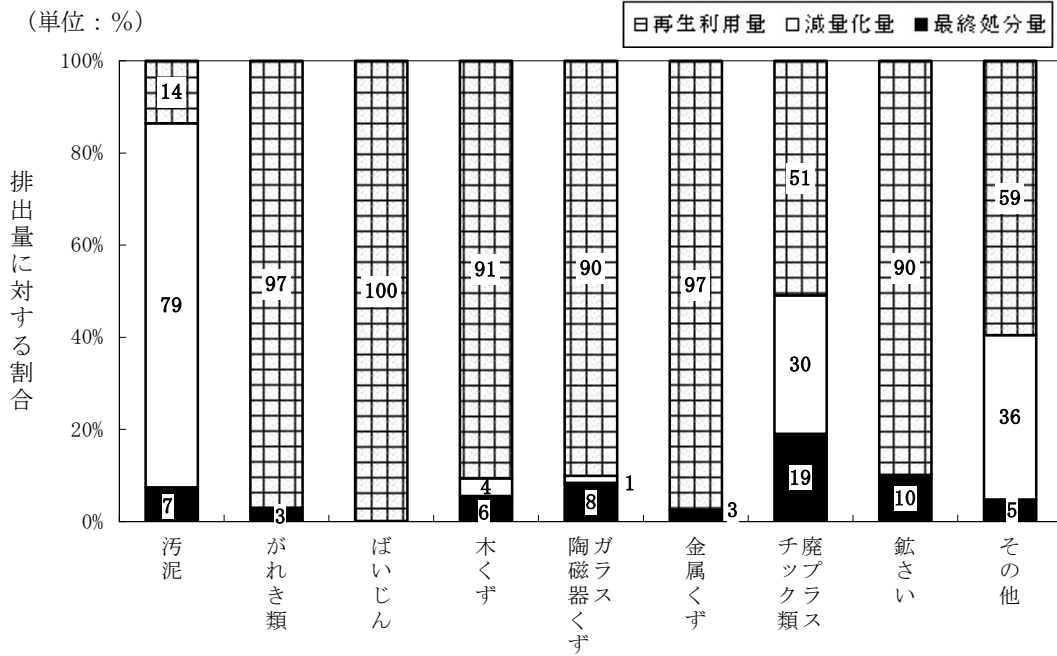


図 3.3-8 種類別の処理・処分量 (平成 22 年度推計値)

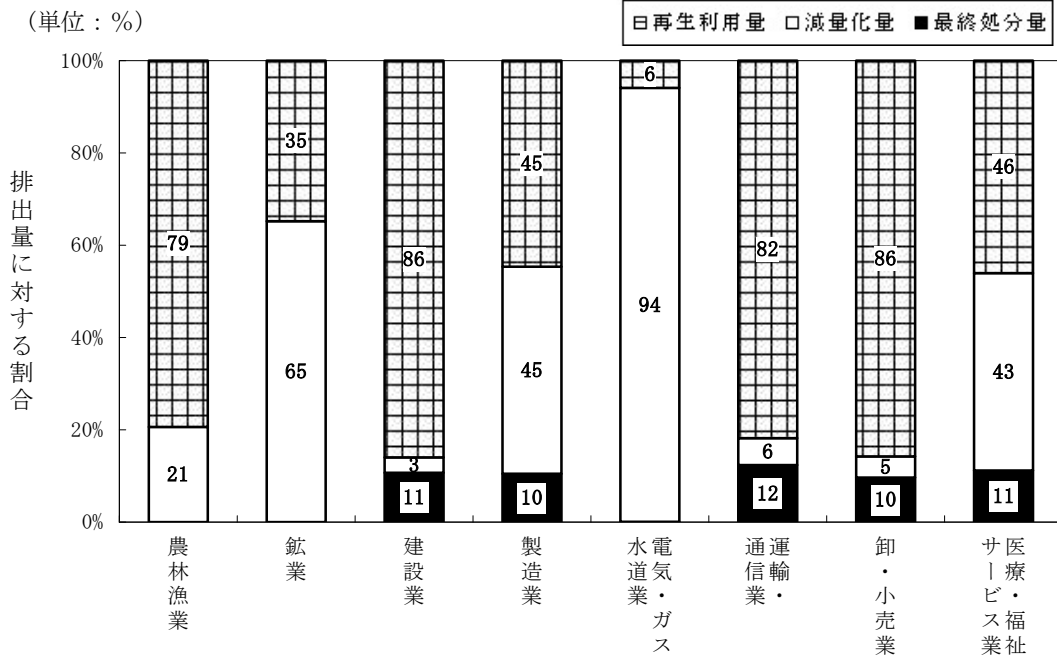


図 3.3-9 業種別の処理・処分量 (平成 22 年度推計値)

(4) 排出量推移の検証

本推計において、H22年度の排出量はH21年度と比較し増加傾向を示していた。そこで、本推計の妥当性を確認するために、その他統計資料の指標値におけるH21年度とH22年度の傾向を確認した。

建設業においては、総合調査で活動量指標としている「元請完成工事高」のH22年度数値が公表されていないため、建築着工統計の数値を参考とした。H22年度の着工延床面積はH21年度と比較して増加傾向（約5%増）を示している。また、製造業においては、総合調査で活動量指標としている「製造品出荷額等」を参考とし比較したところ、H21年度と比較して増加傾向（約16%増）を示していた。電気・ガス・水道業においても、下水道普及率がわずかではあるが増加傾向（0.2%増）を示している。以上のことから、排出量の増加傾向は妥当な結果であると考えられる。

表 3.3-4 統計資料の増減傾向

| 業種 | 指標 | H21 | H22 | 増減 | 参考資料 |
|-----------|---------------|------------|------------|--------|-------------|
| 建設業 | 建築着工-延床面積（千㎡） | 7,866 | 8,262 | 5.0%増 | 神奈川県内建築着工統計 |
| 製造業 | 製造品出荷額等（百万円） | 14,868,385 | 17,203,250 | 15.7%増 | 神奈川県工業統計調査 |
| 電気・ガス・水道業 | 下水道普及率（%） | 95.6 | 95.8 | 0.2%増 | 神奈川県 HP |

4. 資料集

① 排出量等の種類別・業種別の一覧表

表4-1 (1) 排出量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 18,207 | 205 | 1,280 | 5,541 | 4,927 | 6,084 | 18 | 56 | 97 |
| 汚泥 | 10,787 | 0 | 1,279 | 676 | 3,001 | 5,795 | 2 | 4 | 30 |
| 有機性汚泥 | 6,154 | | | 4 | 868 | 5,268 | 0 | 1 | 14 |
| 無機性汚泥 | 4,633 | 0 | 1,279 | 672 | 2,134 | 527 | 1 | 3 | 16 |
| がれき類 | 4,133 | | | 4,082 | 42 | 4 | 1 | 1 | 4 |
| ばいじん | 522 | | | | 290 | 232 | | | 0 |
| 木くず | 357 | | | 285 | 67 | 0 | 4 | 1 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 421 | 0 | | 179 | 237 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 金属くず | 298 | 0 | 0 | 73 | 208 | 0 | 4 | 10 | 3 |
| 廃プラスチック類 | 326 | 0 | | 127 | 154 | 0 | 6 | 25 | 14 |
| 鉱さい | 236 | | | 0 | 236 | 0 | | | 0 |
| その他 | 1,125 | 204 | 0 | 118 | 692 | 53 | 2 | 13 | 43 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (2) 自己中間処理量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|-------|-----|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 9,840 | 53 | 1,279 | 58 | 2,716 | 5,705 | 0 | 1 | 27 |
| 汚泥 | 9,401 | | 1,279 | | 2,391 | 5,705 | 0 | 0 | 26 |
| 有機性汚泥 | 5,944 | | | | 664 | 5,268 | 0 | | 13 |
| 無機性汚泥 | 3,457 | | 1,279 | | 1,727 | 437 | 0 | 0 | 13 |
| がれき類 | 58 | | | 56 | 2 | | | | |
| ばいじん | 0 | | | | 0 | | | | |
| 木くず | 3 | | | 1 | 1 | | | 0 | |
| ガラス陶磁器くず | 84 | | | 0 | 83 | | | | 0 |
| 金属くず | 14 | | | 0 | 14 | | | | |
| 廃プラスチック類 | 14 | 0 | | | 13 | | | 1 | 0 |
| 鉱さい | | | | | | | | | |
| その他 | 266 | 53 | | 0 | 212 | | 0 | 0 | 1 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (3) 自己未処理量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 8,367 | 151 | 0 | 5,483 | 2,210 | 379 | 18 | 55 | 70 |
| 汚泥 | 1,386 | 0 | | 676 | 611 | 90 | 2 | 4 | 4 |
| 有機性汚泥 | 209 | | | 4 | 204 | | 0 | 1 | 1 |
| 無機性汚泥 | 1,177 | 0 | | 672 | 407 | 90 | 1 | 3 | 3 |
| がれき類 | 4,075 | | | 4,026 | 40 | 4 | 1 | 1 | 4 |
| ばいじん | 522 | | | | 290 | 232 | | | 0 |
| 木くず | 355 | | | 284 | 65 | 0 | 4 | 1 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 337 | 0 | | 179 | 154 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 金属くず | 284 | 0 | 0 | 73 | 194 | 0 | 4 | 10 | 3 |
| 廃プラスチック類 | 313 | 0 | | 127 | 141 | 0 | 6 | 25 | 14 |
| 鉱さい | 236 | | | 0 | 236 | 0 | | | 0 |
| その他 | 859 | 151 | 0 | 118 | 480 | 53 | 2 | 13 | 42 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (4) 自己再生利用量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|-----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 1,367 | 33 | 445 | 59 | 823 | 7 | 0 | | 0 |
| 汚泥 | 717 | | 445 | | 264 | 7 | 0 | | |
| 有機性汚泥 | 20 | | | | 20 | 1 | | | |
| 無機性汚泥 | 696 | | 445 | | 244 | 7 | 0 | | |
| がれき類 | 58 | | | 58 | | | | | |
| ばいじん | 264 | | | | 264 | | | | |
| 木くず | 1 | | | 1 | 0 | | | | |
| ガラス陶磁器くず | 25 | | | 0 | 25 | | | | |
| 金属くず | 54 | | | | 54 | | | | 0 |
| 廃プラスチック類 | 7 | | | | 7 | | | | 0 |
| 鉱さい | 189 | | | | 189 | | | | |
| その他 | 53 | 33 | | | 20 | 0 | | | 0 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (5) 搬出量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 8,673 | 154 | 0 | 5,443 | 2,437 | 494 | 18 | 56 | 71 |
| 汚泥 | 2,103 | 0 | | 676 | 1,212 | 205 | 2 | 4 | 5 |
| 有機性汚泥 | 295 | | | 4 | 249 | 38 | 0 | 1 | 2 |
| 無機性汚泥 | 1,809 | 0 | | 672 | 963 | 166 | 1 | 3 | 3 |
| がれき類 | 4,076 | | | 4,024 | 42 | 4 | 1 | 1 | 4 |
| ばいじん | 258 | | | | 26 | 232 | | | 0 |
| 木くず | 347 | | | 276 | 66 | 0 | 4 | 1 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 390 | 0 | | 173 | 212 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 金属くず | 244 | 0 | 0 | 73 | 154 | 0 | 4 | 10 | 3 |
| 廃プラスチック類 | 290 | 0 | | 103 | 141 | 0 | 6 | 25 | 14 |
| 鉱さい | 47 | | | 0 | 46 | 0 | | | 0 |
| その他 | 918 | 154 | 0 | 118 | 537 | 53 | 2 | 13 | 41 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (6) 自己最終処分量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|----|------|----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 4 | | | | 4 | | | | 0 |
| 汚泥 | 3 | | | | 3 | | | | |
| 有機性汚泥 | 2 | | | | 2 | | | | |
| 無機性汚泥 | 1 | | | | 1 | | | | |
| がれき類 | | | | | | | | | |
| ばいじん | | | | | | | | | |
| 木くず | | | | | | | | | |
| ガラス陶磁器くず | | | | | | | | | |
| 金属くず | | | | | | | | | |
| 廃プラスチック類 | | | | | | | | | |
| 鉱さい | | | | | | | | | |
| その他 | 1 | | | | 1 | | | | 0 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (7) 委託処理量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 8,668 | 154 | 0 | 5,443 | 2,433 | 494 | 18 | 56 | 71 |
| 汚泥 | 2,100 | 0 | | 676 | 1,209 | 205 | 2 | 4 | 5 |
| 有機性汚泥 | 291 | | | 4 | 246 | 38 | 0 | 1 | 2 |
| 無機性汚泥 | 1,809 | 0 | | 672 | 963 | 166 | 1 | 3 | 3 |
| がれき類 | 4,076 | | | 4,024 | 42 | 4 | 1 | 1 | 4 |
| ばいじん | 258 | | | | 26 | 232 | | | 0 |
| 木くず | 347 | | | 276 | 66 | 0 | 4 | 1 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 390 | 0 | | 173 | 212 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 金属くず | 244 | 0 | 0 | 73 | 154 | 0 | 4 | 10 | 3 |
| 廃プラスチック類 | 290 | 0 | | 103 | 141 | 0 | 6 | 25 | 14 |
| 鉱さい | 47 | | | 0 | 46 | 0 | | | 0 |
| その他 | 918 | 154 | 0 | 118 | 536 | 53 | 2 | 13 | 41 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (8) 委託処理後再生利用量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 6,669 | 129 | 0 | 4,706 | 1,376 | 350 | 15 | 48 | 45 |
| 汚泥 | 748 | | | 173 | 508 | 62 | 0 | 1 | 2 |
| 有機性汚泥 | 200 | | | 4 | 155 | 38 | 0 | 0 | 1 |
| 無機性汚泥 | 549 | | | 169 | 353 | 24 | 0 | 1 | 1 |
| がれき類 | 3,952 | | | 3,901 | 41 | 3 | 1 | 1 | 4 |
| ばいじん | 258 | | | | 26 | 232 | | | 0 |
| 木くず | 323 | | | 257 | 61 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 354 | 0 | | 153 | 198 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 金属くず | 236 | 0 | 0 | 71 | 150 | 0 | 3 | 8 | 3 |
| 廃プラスチック類 | 159 | 0 | | 47 | 74 | 0 | 5 | 23 | 10 |
| 鉱さい | 23 | | | | 23 | | | | |
| その他 | 617 | 129 | 0 | 103 | 295 | 52 | 2 | 13 | 22 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (9) 委託処理後最終処分量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 1,126 | 0 | | 592 | 513 | 3 | 2 | 5 | 11 |
| 汚泥 | 799 | | | 377 | 419 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 有機性汚泥 | 3 | | | | 3 | | 0 | 0 | 0 |
| 無機性汚泥 | 796 | | | 377 | 416 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| がれき類 | 124 | | | 123 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ばいじん | 1 | | | | 1 | | | | 0 |
| 木くず | 20 | | | 15 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 35 | | | 20 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金属くず | 8 | | | 2 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 廃プラスチック類 | 62 | 0 | | 40 | 18 | 0 | 1 | 2 | 2 |
| 鉱さい | 24 | | | | 24 | | | | 0 |
| その他 | 53 | 0 | | 15 | 28 | 0 | 1 | 1 | 8 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (10) 最終処分量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|----|-----|-----|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 1,131 | 0 | | 592 | 517 | 3 | 2 | 5 | 11 |
| 汚泥 | 803 | | | 377 | 423 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 有機性汚泥 | 5 | | | | 5 | | 0 | 0 | 0 |
| 無機性汚泥 | 798 | | | 377 | 418 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| がれき類 | 124 | | | 123 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ばいじん | 1 | | | | 1 | | | | 0 |
| 木くず | 20 | | | 15 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 35 | | | 20 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金属くず | 8 | | | 2 | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 廃プラスチック類 | 62 | 0 | | 40 | 18 | 0 | 1 | 2 | 2 |
| 鉱さい | 24 | | | | 24 | | | | 0 |
| その他 | 54 | 0 | | 15 | 29 | 0 | 1 | 1 | 8 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

表4-1 (11) 再生利用量

(単位：千トン/年)

| 業種 種類 | 合計 | 農林漁業 | 鉱業 | 建設業 | 製造業 | 電気・ガス・水道業 | 運輸・通信業 | 卸・小売業 | 医療・福祉サービス業 |
|----------|-------|------|-----|-------|-------|-----------|--------|-------|------------|
| 合計 | 8,036 | 162 | 445 | 4,764 | 2,199 | 358 | 15 | 48 | 45 |
| 汚泥 | 1,465 | | 445 | 173 | 772 | 70 | 0 | 1 | 2 |
| 有機性汚泥 | 220 | | | 4 | 175 | 39 | 0 | 0 | 1 |
| 無機性汚泥 | 1,245 | | 445 | 169 | 597 | 31 | 0 | 1 | 1 |
| がれき類 | 4,009 | | | 3,959 | 41 | 3 | 1 | 1 | 4 |
| ばいじん | 521 | | | | 289 | 232 | | | 0 |
| 木くず | 324 | | | 258 | 61 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| ガラス陶磁器くず | 379 | 0 | | 153 | 223 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 金属くず | 290 | 0 | 0 | 71 | 204 | 0 | 3 | 8 | 3 |
| 廃プラスチック類 | 166 | 0 | | 47 | 81 | 0 | 5 | 23 | 10 |
| 鉱さい | 212 | | | | 212 | | | | |
| その他 | 670 | 162 | 0 | 103 | 315 | 52 | 2 | 13 | 22 |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

② 業種別処理状況及びフロー図

表 4-2 (1) 処理処分状況 (農林漁業)

(単位: 千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-----|---------|--------|---------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|-------|------|--------|-------|
| 合 計 | 205 | 53 | 151 | 33 | | 154 | 154 | 129 | 0 | 162 | 0 | 42 | 79.4% | 0.0% |
| 汚泥 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | | |
| 有機性 | | | | | | | | | | | | | | |
| 無機性 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | | |
| がれき類 | | | | | | | | | | | | | | |
| ばいじん | | | | | | | | | | | | | | |
| 木くず | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラス陶磁器くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | 100.0% | |
| 金属くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | 100.0% | |
| 廃プラスチック類 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30.8% | 0.5% |
| 鉱さい | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 204 | 53 | 151 | 33 | | 154 | 154 | 129 | 0 | 162 | 0 | 42 | 79.4% | 0.0% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。
 注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。
 注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

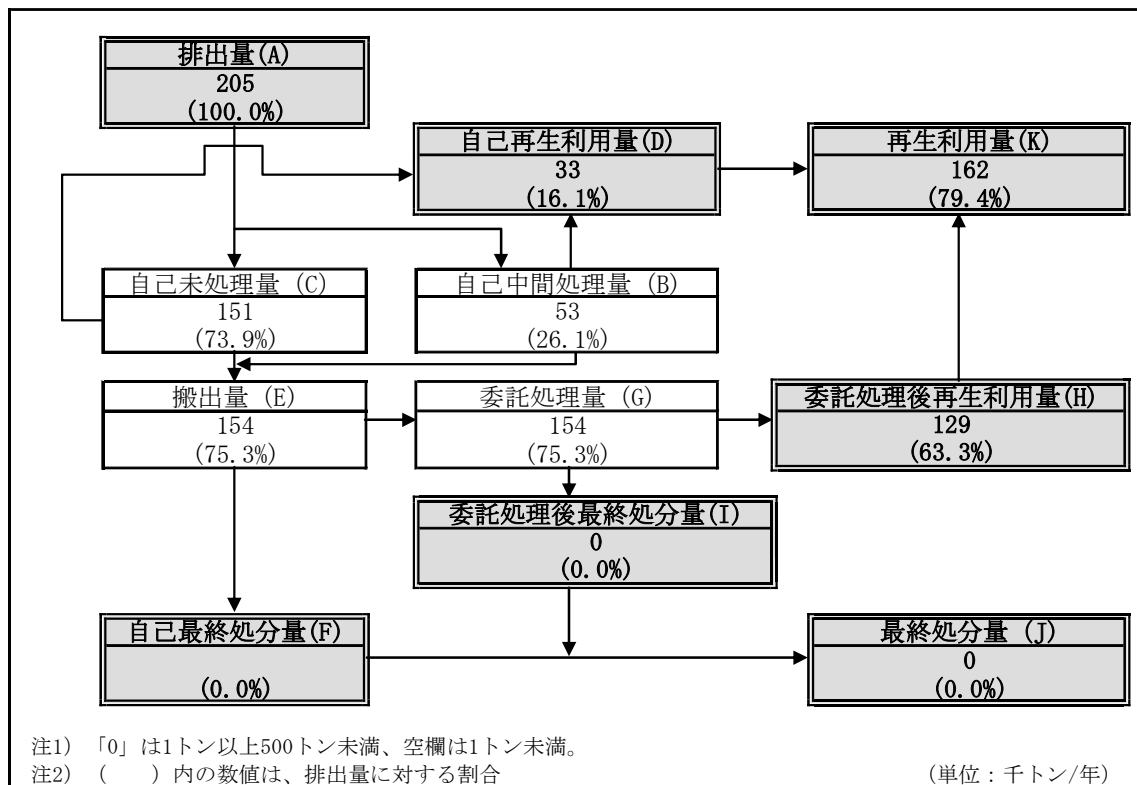


図 4-1 (1) 処理処分状況 (農林漁業)

表 4-2 (2) 処理処分状況 (鉱業)

(単位: 千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-------|---------|--------|---------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|-------|------|--------|-------|
| 合 計 | 1,280 | 1,279 | 0 | 445 | | 0 | 0 | 0 | | 445 | | 834 | 34.8% | |
| 汚泥 | 1,279 | 1,279 | | 445 | | | | | | 445 | | 834 | 34.8% | |
| 有機性 | | | | | | | | | | | | | | |
| 無機性 | 1,279 | 1,279 | | 445 | | | | | | 445 | | 834 | 34.8% | |
| がれき類 | | | | | | | | | | | | | | |
| ばいじん | | | | | | | | | | | | | | |
| 木くず | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラス陶磁器くず | | | | | | | | | | | | | | |
| 金属くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | 100.0% | |
| 廃プラスチック類 | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉱さい | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | 100.0% | |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

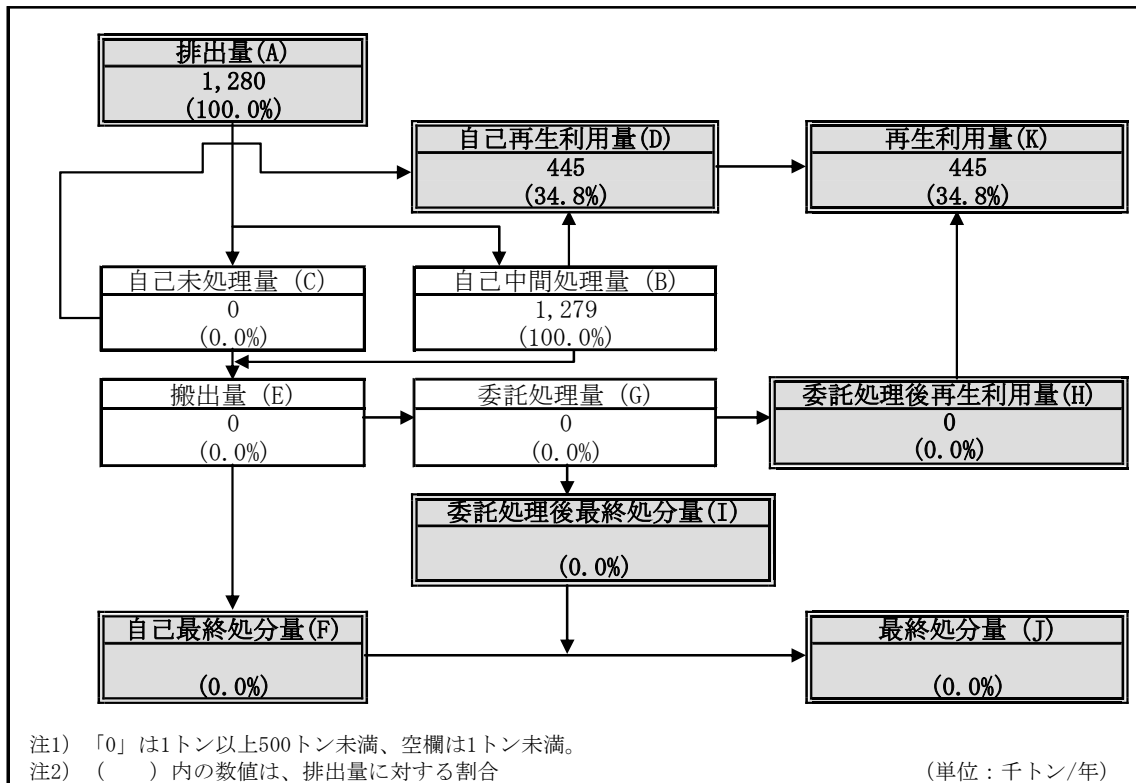


図 4-1 (2) 処理処分状況 (鉱業)

表 4-2 (3) 処理処分状況 (建設業)

(単位: 千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-------|---------|--------|---------|---------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|------|-------|-------|
| 合 計 | 5,541 | 58 | 5,483 | 59 | | 5,443 | 5,443 | 4,706 | 592 | 4,764 | 592 | 184 | 86.0% | 10.7% |
| 汚泥 | 676 | | 676 | | | 676 | 676 | 173 | 377 | 173 | 377 | 125 | 25.7% | 55.8% |
| 有機性 | 4 | | 4 | | | 4 | 4 | 4 | | 4 | | | | |
| 無機性 | 672 | | 672 | | | 672 | 672 | 169 | 377 | 169 | 377 | | | |
| がれき類 | 4,082 | 56 | 4,026 | 58 | | 4,024 | 4,024 | 3,901 | 123 | 3,959 | 123 | | 97.0% | 3.0% |
| ばいじん | | | | | | | | | | | | | | |
| 木くず | 285 | 1 | 284 | 1 | | 276 | 276 | 257 | 15 | 258 | 15 | 13 | 90.4% | 5.2% |
| ガラス陶磁器くず | 179 | 0 | 179 | 0 | | 173 | 173 | 153 | 20 | 153 | 20 | 6 | 85.2% | 11.3% |
| 金属くず | 73 | 0 | 73 | | | 73 | 73 | 71 | 2 | 71 | 2 | | 97.2% | 2.8% |
| 廃プラスチック類 | 127 | | 127 | | | 103 | 103 | 47 | 40 | 47 | 40 | 40 | 36.9% | 31.6% |
| 鉱さい | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | | |
| その他 | 118 | 0 | 118 | | | 118 | 118 | 103 | 15 | 103 | 15 | 0 | 87.2% | 12.8% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

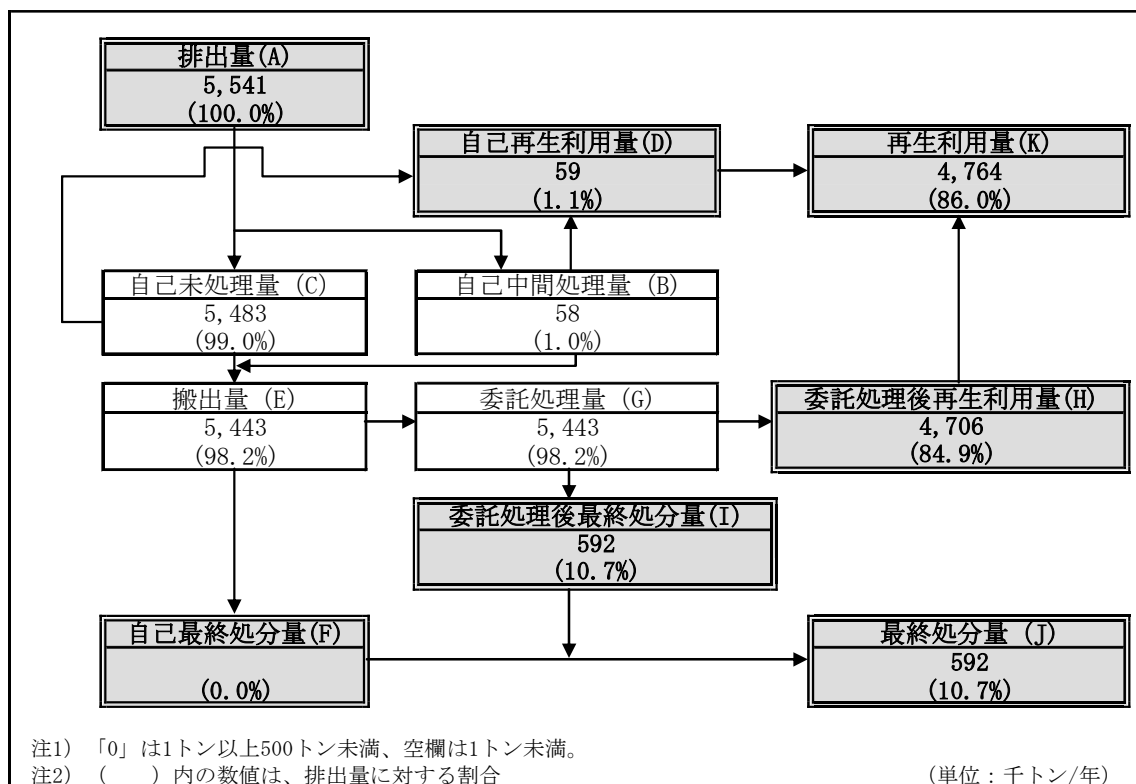


図 4-1 (3) 処理処分状況 (建設業)

表 4-2 (4) 処理処分状況 (製造業)

(単位: 千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-------|---------|--------|---------|---------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 合 計 | 4,927 | 2,716 | 2,210 | 823 | 4 | 2,437 | 2,433 | 1,376 | 513 | 2,199 | 517 | 2,211 | 44.6% | 10.5% |
| 汚泥 | 3,001 | 2,391 | 611 | 264 | 3 | 1,212 | 1,209 | 508 | 419 | 772 | 423 | 1,806 | 25.7% | 14.1% |
| 有機性 | 868 | 664 | 204 | 20 | 2 | 249 | 246 | 155 | 3 | 175 | 5 | | | |
| 無機性 | 2,134 | 1,727 | 407 | 244 | 1 | 963 | 963 | 353 | 416 | 597 | 418 | | | |
| がれき類 | 42 | 2 | 40 | | | 42 | 42 | 41 | 1 | 41 | 1 | | 98.0% | 2.0% |
| ばいじん | 290 | 0 | 290 | 264 | | 26 | 26 | 26 | 1 | 289 | 1 | | 99.8% | 0.2% |
| 木くず | 67 | 1 | 65 | 0 | | 66 | 66 | 61 | 5 | 61 | 5 | 1 | 91.9% | 6.8% |
| ガラス陶磁器くず | 237 | 83 | 154 | 25 | | 212 | 212 | 198 | 14 | 223 | 14 | | 93.9% | 6.1% |
| 金属くず | 208 | 14 | 194 | 54 | | 154 | 154 | 150 | 4 | 204 | 4 | | 98.3% | 1.7% |
| 廃プラスチック類 | 154 | 13 | 141 | 7 | | 141 | 141 | 74 | 18 | 81 | 18 | 55 | 52.5% | 11.4% |
| 鉱さい | 236 | | 236 | 189 | | 46 | 46 | 23 | 24 | 212 | 24 | | 89.9% | 10.1% |
| その他 | 692 | 212 | 480 | 20 | 1 | 537 | 536 | 295 | 28 | 315 | 29 | 348 | 45.6% | 4.2% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

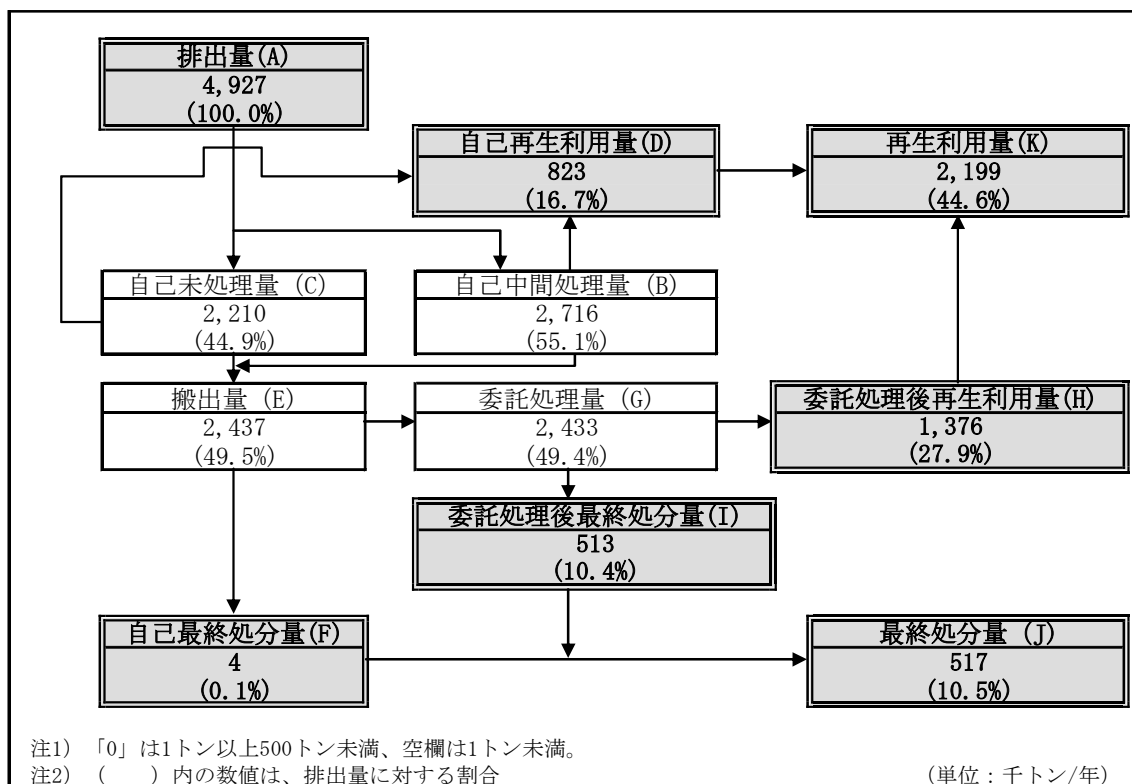


図 4-1 (4) 処理処分状況 (製造業)

表 4-2 (5) 処理処分状況 (電気・ガス・水道業)

(単位: 千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-------|---------|--------|---------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 合 計 | 6,084 | 5,705 | 379 | 7 | | 494 | 494 | 350 | 3 | 358 | 3 | 5,724 | 5.9% | 0.0% |
| 汚泥 | 5,795 | 5,705 | 90 | 7 | | 205 | 205 | 62 | 2 | 70 | 2 | 5,723 | 1.2% | 0.0% |
| 有機性 | 5,268 | 5,268 | | 1 | | 38 | 38 | 38 | | 39 | | | | |
| 無機性 | 527 | 437 | 90 | 7 | | 166 | 166 | 24 | 2 | 31 | 2 | | | |
| がれき類 | 4 | | 4 | | | 4 | 4 | 3 | 0 | 3 | 0 | | 90.1% | 9.9% |
| ばいじん | 232 | | 232 | | | 232 | 232 | 232 | | 232 | | | 100.0% | |
| 木くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 13.2% | 86.8% |
| ガラス陶磁器くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 80.9% | 19.1% |
| 金属くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 93.8% | 6.2% |
| 廃プラスチック類 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 51.5% | 23.3% |
| 鉱さい | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | | | 0 | | | |
| その他 | 53 | | 53 | 0 | | 53 | 53 | 52 | 0 | 52 | 0 | | 99.3% | 0.7% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。
 注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。
 注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

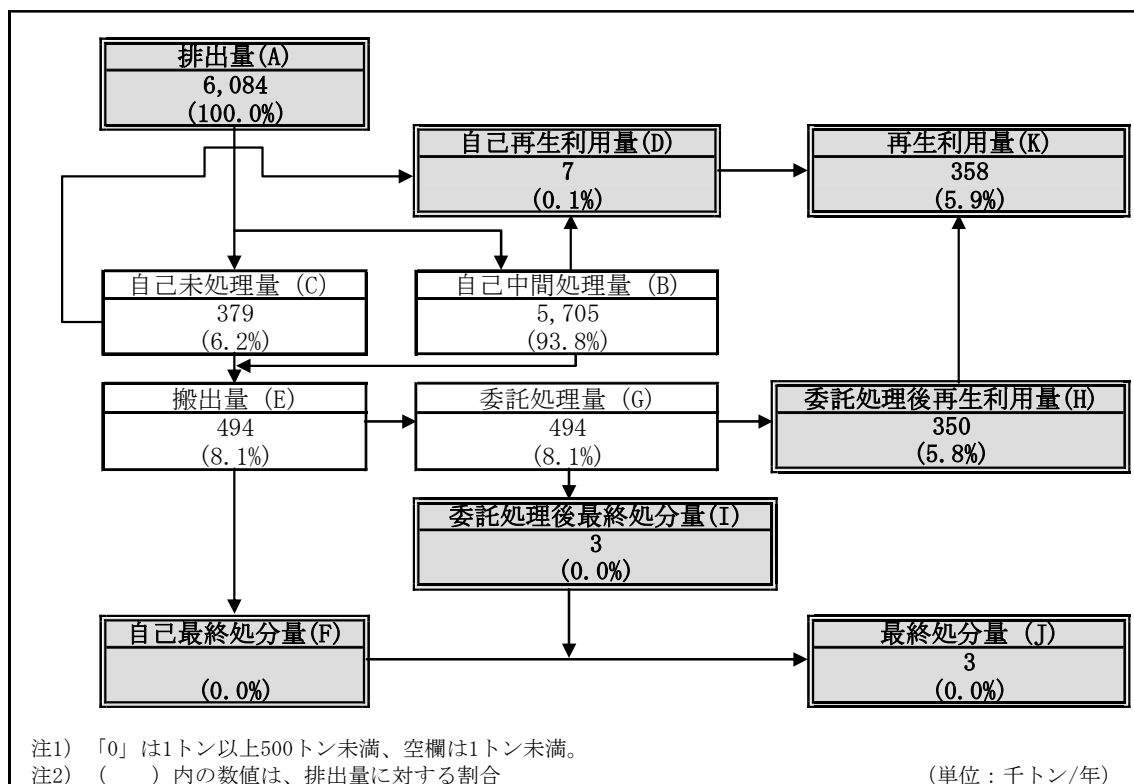


図 4-1 (5) 処理処分状況 (電気・ガス・水道業)

表 4-2 (6) 処理処分状況 (運輸・通信業)

(単位: 千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-----|---------|--------|---------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|-------|------|-------|-------|
| 合 計 | 18 | 0 | 18 | 0 | | 18 | 18 | 15 | 2 | 15 | 2 | 1 | 81.8% | 12.3% |
| 汚泥 | 2 | 0 | 2 | 0 | | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 20.6% | 14.7% |
| 有機性 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 無機性 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| がれき類 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 99.1% | 0.9% |
| ばいじん | | | | | | | | | | | | | | |
| 木くず | 4 | | 4 | | | 4 | 4 | 4 | 0 | 4 | 0 | | 96.0% | 4.0% |
| ガラス陶磁器くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 50.8% | 49.2% |
| 金属くず | 4 | | 4 | | | 4 | 4 | 3 | 0 | 3 | 0 | | 92.4% | 7.6% |
| 廃プラスチック類 | 6 | | 6 | | | 6 | 6 | 5 | 1 | 5 | 1 | | 87.1% | 12.9% |
| 鉱さい | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2 | 0 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 67.8% | 29.6% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

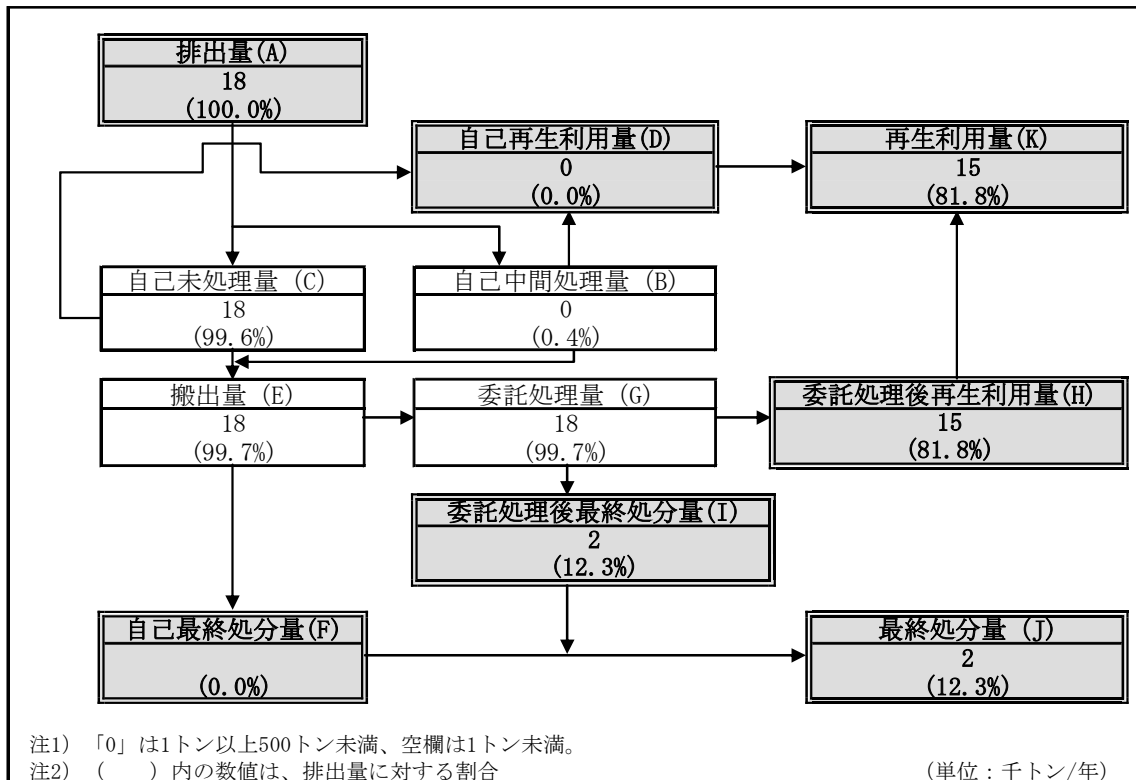


図 4-1 (6) 処理処分状況 (運輸・通信業)

表 4-2 (7) 処理処分状況 (卸・小売業)

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-----|---------|--------|---------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|-------|------|-------|-------|
| 合 計 | 56 | 1 | 55 | | | 56 | 56 | 48 | 5 | 48 | 5 | 3 | 85.8% | 9.7% |
| 汚泥 | 4 | 0 | 4 | | | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 33.7% | 13.6% |
| 有機性 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 無機性 | 3 | 0 | 3 | | | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| がれき類 | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 87.5% | 12.5% |
| ばいじん | | | | | | | | | | | | | | |
| 木くず | 1 | 0 | 1 | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46.0% | 18.9% |
| ガラス陶磁器くず | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | | 84.7% | 15.3% |
| 金属くず | 10 | | 10 | | | 10 | 10 | 8 | 2 | 8 | 2 | | 81.1% | 18.9% |
| 廃プラスチック類 | 25 | 1 | 25 | | | 25 | 25 | 23 | 2 | 23 | 2 | | 92.4% | 7.6% |
| 鉱さい | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 13 | 0 | 13 | | | 13 | 13 | 13 | 1 | 13 | 1 | 0 | 95.5% | 4.2% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。
 注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。
 注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

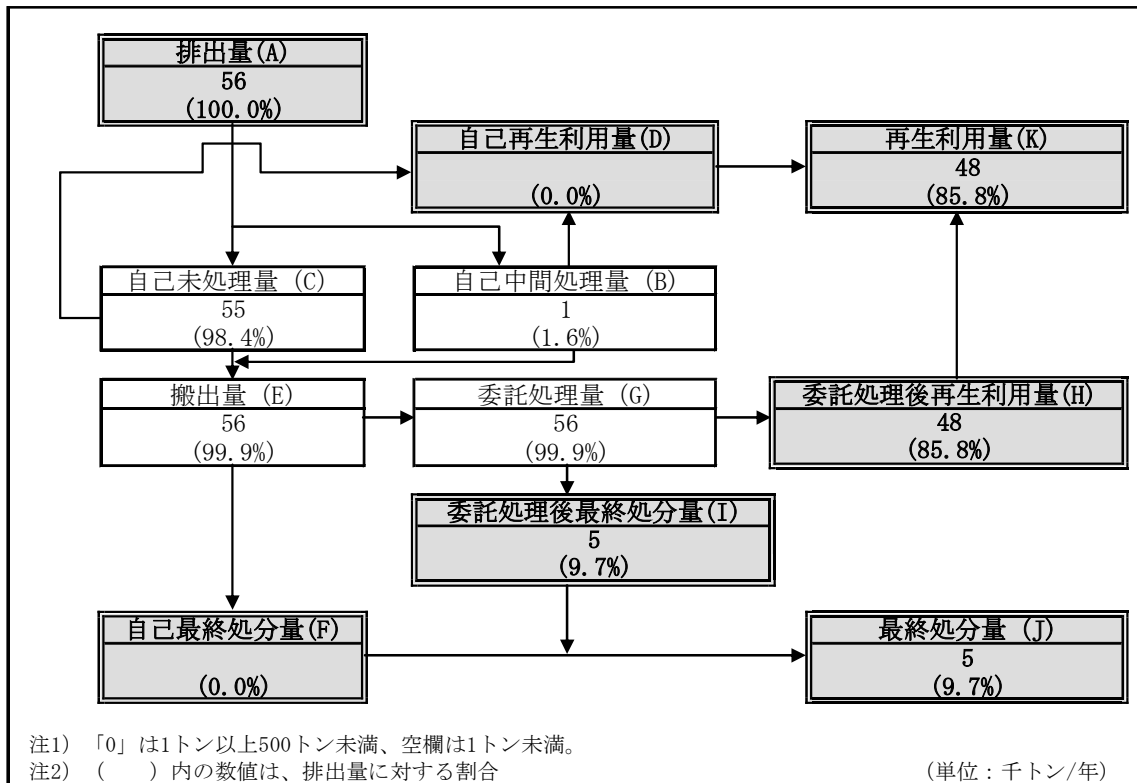


図 4-1 (7) 処理処分状況 (卸・小売業)

表 4-2 (8) 処理処分状況（医療・福祉、サービス業）

(単位：千トン/年)

| 種 類 | 排出量 | 自己中間処理量 | 自己未処理量 | 自己再生利用量 | 自己最終処分量 | 搬出量 | 委託処理量 | 委託再生利用量 | 委託最終処分量 | 再生利用量 | 最終処分量 | 減量化量 | 再生利用率 | 最終処分率 |
|----------|-----|---------|--------|---------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|-------|------|-------|--------|
| 合 計 | 97 | 27 | 70 | 0 | 0 | 71 | 71 | 45 | 11 | 45 | 11 | 42 | 46.1% | 11.2% |
| 汚泥 | 30 | 26 | 4 | | | 5 | 5 | 2 | 0 | 2 | 0 | 27 | 8.2% | 1.6% |
| 有機性 | 14 | 13 | 1 | | | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | | | |
| 無機性 | 16 | 13 | 3 | | | 3 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | | | |
| がれき類 | 4 | | 4 | | | 4 | 4 | 4 | 0 | 4 | 0 | | 99.4% | 0.6% |
| ばいじん | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 80.0% | 20.0% |
| 木くず | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 87.3% | 5.9% |
| ガラス陶磁器くず | 3 | 0 | 2 | | | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 0 | | 88.0% | 12.0% |
| 金属くず | 3 | | 3 | 0 | | 3 | 3 | 3 | 0 | 3 | 0 | | 99.2% | 0.8% |
| 廃プラスチック類 | 14 | 0 | 14 | 0 | | 14 | 14 | 10 | 2 | 10 | 2 | 2 | 70.8% | 12.0% |
| 鉱さい | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | | 100.0% |
| その他 | 43 | 1 | 42 | 0 | 0 | 41 | 41 | 22 | 8 | 22 | 8 | 12 | 52.2% | 19.4% |

注1) 表中の「0」は1トン以上500トン未満、空欄は1トン未満。

注2) 海洋投入の推計結果は、県内の実績値を採用した。

注3) 汚泥の有機性、無機性の内訳は総合調査を参考とし推計した。

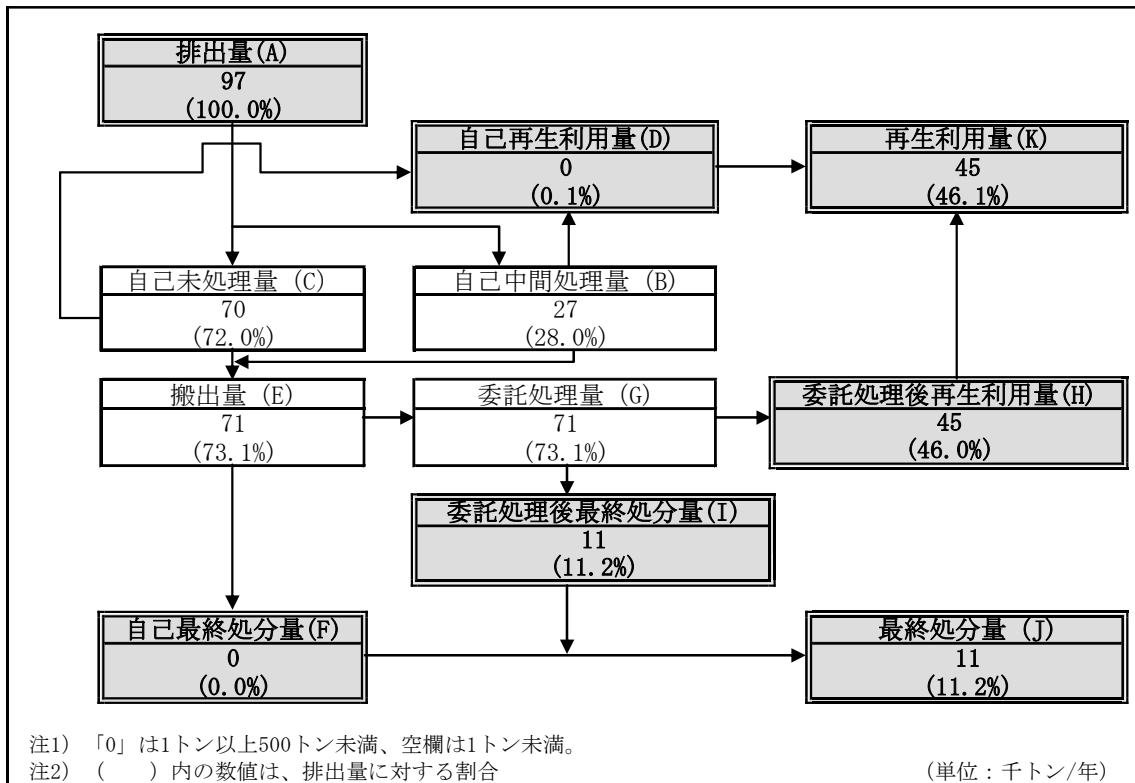


図 4-1 (8) 処理処分状況（医療・福祉、サービス業）

